

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	玄武岩公園管理事業				事業コード	230206	
政策体系	基本政策	8 市民一人ひとりが、時代の変化を先取りし、地域産業の発展に貢献できるまち			政策目標	2 DXを生かした商業・サービス業の活性化	
	施策名	2 市の特質を踏まえたキラリと光る観光戦略の推進				施策コード	822
事業担当	所属	02090000 地域振興部 夜久野支所			所属長	中島 美香	
会計情報	款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	11 地域交流推進費	
	会計	01 一般会計		決算付属資料	84 頁		
計画期間	開始年度	平成18年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	-	
	R4現在の状況	継続中					
根拠法令等	福知山市やくの玄武岩公園条例						
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()						
関連事業							

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	京都府指定文化財(天然記念物)に指定され、京都府景観資産にも登録されている「やくの玄武岩公園」を、夜久野地域における観光施設のひとつとして適正に維持管理することにより、夜久野地域への観光客及び交流人口の増加を図る。						
対象者	観光客及び市民	対象者数	76,548	単位あたりコスト	0.0		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()						
委託先・実施主体等	小倉幸福会						
事業概要 (箇条書き)	やくの玄武岩公園の清掃業務委託、人工滝の運転や夜間ライトアップ等、設備の維持運営等にかかる経費。 ・清掃業務 14~17日/月 ・人工滝の運転 365日/年 ・夜間ライトアップ 365日/年						
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)	主な業務内容				
	委託料	361	やくの玄武岩公園清掃等業務				
	需用費	358	電気・水道代				
	使用料及び賃借料	30	案内看板用地賃借料				
	役務費	2	建物総合損害共済にかかる共済分担金				

III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)	R3(評価年度)	R4(本年度)	R5(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	908	895	1,695	1,226				
	② 補正予算	0	0	0	0				
	③ 繰越予算	0	0	0	0				
	前年度繰越	0	0	0	0				
	次年度繰越	0	0	0	0				
	小計(①~③)	908	895	1,695	1,226				
予算財源内訳	① 一般財源	908	895	1,695	1,226				
	② 国支出金	0	0	0	0				
	③ 府支出金	0	0	0	0				
	④ 地方債	0	0	0	0				
	⑤ その他特財	0	0	0	0				
決算情報	① 流充用額	△ 5	△ 115						
	② 配当予算	903	780						
	③ 執行額	891	751						
	④ 執行率	98.7%	96.3%						
人概 工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.15 / 0.00	0.19 / 0.05	0.19 / 0.05	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	1,200	1,645	1,645	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	2,091	2,396	1,645	0					
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	想定見込来場者数	千人	126 / 159	90 / 159	49 / 90	/ 90	82
苦情・クレーム件数	件	0 / 0	0 / 0	0 / 0	/ 0	0	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	公園内清掃	回	12 / 12	12 / 12	12 / 12	/ 12	12
	単位あたりコスト		64.3	74.3	62.6		
	単位あたりコスト		/	/	/	/	

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	<p>やくの玄武岩公園は、旧夜久野町が観光施設のひとつとして民間の土地を無償で借り上げて整備した公園であり、市へ土地の無償譲渡を受けることで、令和2年度に市有地となったことから、適正に管理するため、令和3年度に公園条例を制定した。</p> <p>将来にわたって適正に管理する必要がある。</p>	<input type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	<p>公園の清掃業務については、入札で地元の団体が受託し実施している。また、地元公民館のボランティア活動によっても清掃が行われている。</p>	<input checked="" type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	<p>やくの玄武岩公園への来客数をカウント出来ないため有効性の分析が困難である。</p>	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<p>維持管理に関する苦情クレームは少なく、適正に管理できている。</p> <p>やくの玄武岩公園は、道の駅「農匠の郷やくの」、宝山、夜久野八十八か所石仏めぐり等、夜久野高原を周遊してもらうための観光における立ち寄りポイントのひとつであり、過去にはロケ地になったり、旅番組で紹介されるなどメディアに乗ることで広くPRできたことがあった。</p> <p>今後も様々な手法によりPRを行っていく必要がある。</p> <p>玄武岩の柱状節理、板状節理の景観を保つため、周辺の樹木の計画的な整備が必要である。</p> <p>※ 平成28年には、玄武岩の柱状節理、板状節理に加え滝があることにより、映画のロケ地となった。</p> <p>平成29年には、「出発ローカル線聞きこみ発見の旅」でやくの玄武岩公園が紹介された。</p>		
改善策	<p>条例に位置付けた公園として将来に向けて適正管理を続けるとともに、地域の観光資源として活用できるよう、関係機関とも連携しながら情報発信をしていく。</p>		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<p>令和2年度の玄武岩公園用地整理事業において取得が完了し、令和3年度に公園条例を制定した。</p> <p>観光資源として適正管理を続ける。</p>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減
	<input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	農匠の郷やくの施設管理運営事業				事業コード	230219	
政策体系	基本政策	8 市民一人ひとりが、時代の変化を先取りし、地域産業の発展に貢献できるまち			政策目標	2 DXを生かした商業・サービス業の活性化	
	施策名	2 市の特質を踏まえたキラリと光る観光戦略の推進			施策コード	822	
事業担当	所属	02090000 地域振興部 夜久野支所			所属長	中島 美香	
会計情報	款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	11 地域交流推進費	
	会計	01 一般会計		決算付属資料	84 頁		
計画期間	開始年度	平成29年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	-	
	R4現在の状況	継続中					
根拠法令等	福知山市ファームガーデンやくの条例						
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事业 <input type="checkbox"/> その他 ()						
関連事業	夜久野高原・道の駅支援事業、夜久野町化石・郷土資料館運営事業						

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	都市と農村の交流拠点として整備し、夜久野高原を中心とした観光の拠点施設となる「農匠の郷やくの」を適切に管理運営していく。						
対象者	観光客及び市民	対象者数	76,548	単位あたりコスト	0.5		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (工事・修繕等)						
委託先・実施主体等	(株)クリア、公正産業(株)、(社)福知山市シルバー人材センター、アムス・セキュリティサービス(株)、(株)サムソン神戸営業所 ほか						
事業概要 (箇条書き)	令和3年3月31日で指定管理が終了したことで、令和3年度は市が直営管理を行った。(今後の活用方法についてサウンディング等を実施しながら検討) 直営管理・・・夜久野荘、ほっこり館、やくの一道庵、やくの本陣、やくのペゴニア園、やくの木と漆の館、夜久野町化石・郷土資料館 民間貸付・・・やくの花あずき館 公設民営・・・やくの高原市						
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)	主な業務内容				
	需用費	13,270	電気・水道代、施設修繕料、消耗品費				
	委託料	9,944	維持管理業務(機械設備等保守業務、除草業務、機械警備業務ほか)				
	役務費	883	手数料、保険料				
	使用料及び賃借料	159	土地賃借料(案内看板用)				
	負担金補助及び交付金	56	道の駅年会費等				

III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)	R3(評価年度)	R4(本年度)	R5(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	65,066	19,352	29,236	128,640				
	② 補正予算	1,160	0	0	0				
	③ 繰越予算	0	0	0	0				
	前年度繰越	0	0	0	0				
	次年度繰越	0	0	0	0				
小計(①～③)	66,226	19,352	29,236	128,640					
予算財源内訳	① 一般財源	9,093	13,276	25,168	21,439				
	② 国支出金	0	0	0	0				
	③ 府支出金	0	0	0	0				
	④ 地方債	0	0	0	95,600				
	⑤ その他特財	57,133	6,076	4,068	11,601				
決算情報	① 流充用額	1,663	4,960						
	② 配当予算	67,889	24,312						
	③ 執行額	67,889	24,312						
	④ 執行率	100.0%	100.0%						
人概 工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	1.48 / 0.05	1.19 / 0.53	1.19 / 0.53	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	11,965	10,845	10,845	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	79,854	35,157	10,845	0					
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	花あずき館貸付収入	種類	財産貸付収入	実績金額	610	決算付属資料	32	頁
		地域振興施設維持補修基金繰入		基金繰入金		1,986		38	
	農匠の郷やくの施設管理運営事業負担金	雑入	3,415	48					

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	指定管理施設利用者数	人	67503 / 82295	40031 / 82295	- / 76584	/ -	82295
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	維持管理経費	千円	69473 / 64994	67889 / 65066	24312 / 19352	/ 29236	-
	単位あたりコスト		-	-	-		
	指定管理料	千円	42918 / 43316	42918 / 43132	0 / 0	/ 0	-
単位あたりコスト		-	-				

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	<p>平成14年に登録された道の駅「農匠の郷やくの」は、夜久野地域における農村都市交流の拠点施設であり、当初より継続して運営管理している必要な事業である。</p> <p>令和3年3月末でメインの施設が休館しており、休館施設の早期再開に向けて関係機関等と協議を進めている。</p>	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	<p>数千万円の指定管理料がかかっていたことから、指定管理を終了し、民間事業者による運営ができないか、調査・検討している。</p>	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	<p>夜久野高原には、京都府唯一の火山である宝山や夜久野八十八か所石仏めぐりなど、資源、自然、歴史的な観光資源が豊富にあり、その観光拠点として「農匠の郷やくの」があることで観光誘客につながると考えている。</p> <p>メインの施設が休館していることで目標が不達成となっており、施設の早期再開が目標となっている。</p>	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<p>令和2年度末で指定管理者制度が終了しており、大半の施設が休館している。最小限の維持管理は行っているが、その期間が長引くほど施設には悪影響を及ぼす。民間事業者の経営ノウハウを活かした運営形態となるよう早期に活用事業者を決定する必要がある。</p>		
改善策	<p>「農匠の郷やくの」の休館施設の再開に向け、整理、処理しなければならない課題を早期に解決し、施設の活用を決定することが事業の改善策である。</p> <p>また、今後の再開に向けた方向性と照らし、成果目標は「指定管理施設利用者数」ではなく「施設利用者数」と変更することとする。</p>		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<p>活用事業者を決定するために、サウンディング型市場調査、トライアル・サウンディングを実施した。その結果を踏まえた募集を行い、早期に施設の再開を目指す。施設の再開するまでの間、使用されていない施設の維持管理を行う。</p>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	宝山公園等管理事業				事業コード	230260						
政策体系	基本政策	8 市民一人ひとりが、時代の変化を先取りし、地域産業の発展に貢献できるまち			政策目標	2 DXを生かした商業・サービス業の活性化						
	施策名	2 市の特質を踏まえたキラリと光る観光戦略の推進			施策コード	822						
事業担当	所属	02090000 地域振興部 夜久野支所			所属長	中島 美香						
会計情報	款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	11 地域交流推進費		会計	01 一般会計	決算付属資料	86	頁
計画期間	開始年度	平成18年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	-			R4現在の状況	継続中		
根拠法令等	「夜久野高原金浦公衆便所の設置及び管理に関する協定書」及び「覚書」(相手側:朝来市長)											
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事业 <input type="checkbox"/> その他 ()											
関連事業												

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	夜久野地域における観光拠点である宝山公園と夜久野高原さわやかトイレを適正に維持管理する。											
対象者	観光客及び市民			対象者数	76,548		単位あたりコスト	0.0				
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (朝来市への負担金)											
委託先・実施主体等	あした土木											
事業概要 (箇条書き)	宝山公園維持管理業務の実施及び夜久野高原さわやかトイレ維持管理負担金の支払いによる維持管理。 ・公園内の剪定及び除草、トイレ清掃業務の委託。 ・朝来市と共同設置した「さわやかトイレ(夜久野高原)」の維持管理経費(1/2)の負担。											
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)	主な業務内容									
	委託料	968	宝山公園清掃等業務									
	負担金補助及び交付金	269	夜久野高原さわやかトイレ維持管理経費負担金									
	使用料及び賃借料	42	宝山公園土地賃借料									
	需用費	34	電気・水道代									
	役務費	7	手数料、建物総合損害共済にかかる共済分担当									

III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)	R3(評価年度)	R4(本年度)	R5(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	1,445	1,416	1,416	2,625				
	② 補正予算	0	0	0	0				
	③ 繰越予算	0	0	0	0				
	前年度繰越	0	0	0	0				
	次年度繰越	0	0	0	0				
小計(①~③)	1,445	1,416	1,416	2,625					
予算財源内訳	① 一般財源	1,221	1,192	1,192	2,412				
	② 国支出金	0	0	0	0				
	③ 府支出金	224	224	224	213				
	④ 地方債	0	0	0	0				
	⑤ その他特財	0	0	0	0				
決算情報	① 流充用額	128	△ 95						
	② 配当予算	1,573	1,321						
	③ 執行額	1,572	1,320						
	④ 執行率	99.9%	99.9%						
人概 工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.04 / 0.10	0.09 / 0.10	0.09 / 0.10	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	570	970	970	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	2,142	2,290	970	0					
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	宝山公園等管理事業(きょうと地域連携交付金)	種類	総務費府補助金	実績金額	112	決算付属資料	24	頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	苦情件数	件	0 / 0	0 / 0	2 / 0	/ 0	0
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	清掃回数	回	310 / 310	310 / 310	310 / 310	/ 310	310
	単位あたりコスト		4.5	5.1	4.3		
	単位あたりコスト		/	/	/	/	

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	宝山は京都府唯一の火山で知られており、観光拠点の維持管理事業として必要である。また、宝山には夜久野八十八か所石仏群が存在しており、その関係団体と協力して維持管理することも必要である。	<input type="checkbox"/> 高い <input checked="" type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	事業費は、公園内の剪定及び除草、トイレ清掃業務の委託料、「さわやかトイレ(夜久野高原)」の負担金等、必要最小限の経費であり、年間を通じての維持管理として適正である。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	登山者数の把握が困難であることから、現状の取り組みでどこまで市民等のニーズに応えられているかが不明。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	夜久野高原の施設を適正に維持管理することにより、観光地としてのイメージアップにつなげていくことが必要である。訪れる方の人数把握は、入山ルートが複数あること、利用時間帯が主に早朝であることなどで難しい。宝山作業道の整備並びに公園内トイレの改善の声を聞いており、公園を今後どこまで整備するのかを検討する必要がある。		
改善策	市の施設の適正な維持管理を行うため、事業を継続するとともに、地域の観光資源として活用できるよう朝来市とも連携し、「農匠の郷やくの」の新たな活用の方向性と合わせて検討していく。昨年度お試し利用をしたKDDIの位置情報データ分析ツールを恒常的な利用等入込客数を把握する手段として市全体で入込客数を把握することが必要である。作業道の整備については、本市観光協会や朝来市とも連携しながら検討していく。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	公園清掃等にかかる現場管理に必要な最小限の経費であり、適正管理を行うため事業を継続する。携帯会社との連携による推計値の活用により、利用者数やその年代等を把握することで、今後の活性化の方向性を探る。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	大雲記念館等管理事業				事業コード	230207					
政策体系	基本政策	8 市民一人ひとりが、時代の変化を先取りし、地域産業の発展に貢献できるまち			政策目標	2 DXを生かした商業・サービス業の活性化					
	施策名	2 市の特質を踏まえたキラリと光る観光戦略の推進			施策コード	822					
事業担当	所属	02100000 地域振興部 大江支所			所属長	神内 明宏					
会計情報	款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	11 地域交流推進費	会計	01 一般会計	決算付属資料	84	頁
計画期間	開始年度	平成17年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名			R4現在の状況	継続中		
根拠法令等											
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()										
関連事業											

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	あしぎぬ大雲の里の施設である「大雲塾舎、鬼力亭」、「京都府指定有形文化財の大雲記念館」を市直営により適正な管理運営を行い、施設活用の促進を図る。										
対象者	来訪者(観光客等)				対象者数	10,362		単位あたりコスト	1.7		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()										
委託先・実施主体等	大江観光㈱										
事業概要 (箇条書き)	大雲あしぎぬの里施設である大雲塾舎、鬼力亭及び大雲記念館の管理運営に係る経費。指定管理により大江観光㈱による施設運営。										
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)	主な業務内容								
	役員費	55	建物損害共済保険料								
	委託料	10,656	指定管理業務委託料								
	使用料及び賃借料	58	大雲記念館借地料、研修室借上料								
	備品購入費	253	その他機械器具等(自動体外式除細動器) 購入								
	補償、補填及び賠償金	2,936	不可抗力により発生した費用等の支援								

III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)	R3(評価年度)	R4(本年度)	R5(要求年度)				
予算情報	① 当初予算	10,861	11,115	6,611	5,162			
	② 補正予算	1,482	2,936	0	0			
	③ 繰越予算	0	0	0	0			
	前年度繰越	0	0	0	0			
	次年度繰越	0	0	0	0			
小計(①～③)	12,343	14,051	6,611	5,162				
予算財源内訳	① 一般財源	1,552	3,260	6,426	5,027			
	② 国支出金	0	0	0	0			
	③ 府支出金	0	0	0	0			
	④ 地方債	0	0	0	0			
	⑤ その他特財	10,791	10,791	185	135			
決算情報	① 流充用額	0	8					
	② 配当予算	12,343	14,059					
	③ 執行額	12,242	13,958					
	④ 執行率	99.2%	99.3%					
人概 工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.32 / 0.00	0.40 / 0.00	0.40 / 0.00	0.00 / 0.00			
	② 概算人件費	2,560	3,200	3,200	0			
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	14,802	17,158	3,200	0				
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	大雲記念館貸付収入	種類	財産貸付収入	実績金額	35	32	頁
		大雲記念館等管理事業基金繰入		基金繰入金		10,656	38	

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	施設利用者数	人	20618 / 24700	10877 / 24700	10362 / 24700	/ 24700	24700
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	企画経営会議	回	12 / 12	12 / 12	12 / 12	/ 12	12
	単位あたりコスト		972.1	1020.2	1163.2		
	単位あたりコスト		/	/	/	/	

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	<ul style="list-style-type: none"> 由良川を観光資源とする由良川流域の拠点施設として整備した市施設を指定管理者制度により、民間ノウハウを生かす運営を行っており、市の関与は高い事業である。 地域振興拠点施設として、また、地域の会議研修等に活用されるなど地域振興に寄与する施設として運営しているが、コロナ禍の影響により、利用が低迷している。 	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	<ul style="list-style-type: none"> 市施設を指定管理者制度により、民間運営を行い、大江観光株式会社が指定管理者となり、民間が持つ、経営力、企画力、接客サービス等のノウハウを活用することで、創意工夫により運営の効率化を行う。 	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	<ul style="list-style-type: none"> 施設利用者数は、コロナ禍の影響により、研修等また飲食利用が低迷し、目標数達成が困難な状況であった。 施設運営においては、地域振興拠点としての施設の存在が地域の衰退を防ぐための施設として周辺地域市民の拠りどころとなっている。 	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	指定管理による施設管理運営は、行政直営と比較し、民間の経営ノウハウの活用により、迅速かつ柔軟な対応、住民サービスの向上、雇用の創出等に有効であったが、市民また来訪者の利用の状況もふまえ施設運営のあり方についての検討が必要とされる。		
改善策	指定管理者制度第三者評価委員会の調査報告を受け、また、施設利用の状況も鑑み、令和4年度からは指定管理を外し、新たな施設活用のあり方が定まるまでの間、市直営での管理運営とする。地域振興に資する施設の新たな有効活用策の確立を目指し、活用の検討を進める。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合／組換 <input type="checkbox"/> 廃止／休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	大江山鬼瓦工房等管理事業				事業コード	230210	
政策体系	基本政策	8 市民一人ひとりが、時代の変化を先取りし、地域産業の発展に貢献できるまち			政策目標	2 DXを生かした商業・サービス業の活性化	
	施策名	2 市の特質を踏まえたキラリと光る観光戦略の推進			施策コード	822	
事業担当	所属	02100000 地域振興部 大江支所			所属長	神内 明宏	
会計情報	款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	11 地域交流推進費	
計画期間	開始年度	平成17年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	R4現在の状況 継続中	
根拠法令等							
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的業務 <input type="checkbox"/> その他 ()						
関連事業							

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	大江山酒呑童子の里の施設である「大江山グリーンロッジ、大江山鬼瓦工房、キャンプ場、テニスコート等」を貸付、また委託により適正な管理運営を行い、大江山地域の歴史的及び自然的資源を活用した施設として、都市住民に豊かな自然に親しむ機会を提供するとともに地域の活性化を図るため、有効活用を促進を図る。						
対象者	来訪者(観光客等)	対象者数	2,024	単位あたりコスト	8.0		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()						
委託先・実施主体等	大江観光㈱						
事業概要 (箇条書き)	大江山酒呑童子の里施設である大江山鬼瓦工房、童子荘、バンガロー等の管理運営に係る経費。指定管理により大江観光㈱による施設運営。						
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)	主な業務内容				
	役員費	38	建物損害共済保険料				
	委託料	7,759	指定管理業務委託料、酒呑童子の里連絡道等除草業務				
	使用料及び賃借料	400	酒呑童子の里施設等借地料				
	備品購入費	253	その他機械器具等(自動体外式除細動器) 購入				
	補償、補填及び賠償金	4,589	不可抗力により発生した費用等の支援				

III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)	R3(評価年度)	R4(本年度)	R5(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	17,551	8,673	1,705	2,104				
	② 補正予算	2,208	4,590	0	0				
	③ 繰越予算		0	0	0				
		前年度繰越	0	0	0				
		次年度繰越	0	0	0				
	小計(①～③)	19,759	13,263	1,705	2,104				
予算財源内訳	① 一般財源	5,019	5,523	1,045	948				
	② 国支出金	0	0	0	0				
	③ 府支出金	0	0	0	0				
	④ 地方債	0	0	0	0				
	⑤ その他特財	14,740	7,740	660	1,156				
決算情報	① 流充用額	△ 525	0						
	② 配当予算	19,234	13,263						
	③ 執行額	19,172	13,040						
	④ 執行率	99.7%	98.3%						
人概 工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.35 / 0.00	0.40 / 0.00	0.40 / 0.00	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	2,800	3,200	3,200	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	21,972	16,240	3,200	0					
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	大江山鬼瓦工房等管理事業基金繰入	種類	基金繰入金	7,634	実績金額	38	決算付属資料	頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	施設利用者数	人	5449 / 10000	2269 / 10000	2024 / 10000	/ 10000	10000
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	企画経営会議	回	12 / 12	12 / 12	12 / 12	/ 12	12
	単位あたりコスト		845.5	1597.7	1086.7		
	単位あたりコスト		/	/	/	/	

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	<ul style="list-style-type: none"> 国定公園丹後天橋立大江山のエリア内に位置し、都市部からの誘客、また、市民のレクリエーション等地域活性化の拠点施設として整備した市施設であり、当該施設を指定管理者制度により、民間ノウハウを生かす運営を行っており、市の関与は高い事業である。 大江山の自然環境を生かし、学生等のスポーツ合宿を中心に都市住民の受け入れの拠点施設として、また、市民のレクリエーション施設として、地域振興に寄与する施設として運営しているが、コロナ禍の影響を受け、利用が低迷している。 	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	<ul style="list-style-type: none"> 市施設を指定管理者制度により、民間運営を行い、大江観光株式会社が指定管理者となり、民間が持つ、経営力、企画力、接客サービス等のノウハウを活用することで、創意工夫により運営の効率化を行う。 	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	<ul style="list-style-type: none"> 施設利用者数は、コロナ禍の影響により、学生等の団体利用、また、大江山エリアへの来訪者が低迷し、目標数達成が困難な状況であった。 本施設は、大江山、鬼伝説エリアに位置していることから、同エリアにおける市事業との連携を進めることにより、成果達成を目指す。 	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	指定管理による施設管理運営は、行政直営と比較し、民間の経営ノウハウの活用により、迅速かつ柔軟な対応、住民サービスの向上、雇用の創出等に有効であったが、市民また来訪者の利用の状況もふまえ施設運営のあり方についての検討が必要とされる。		
改善策	指定管理者制度第三者評価委員会の調査報告を受け、指定管理から貸付での管理を検討するため、指定期間を令和4年3月31日まで2年延長した。この間に、新たな施設管理の検討を行い、令和4年度以降は、貸付また委託により、更に民間の特性を活かした管理運営を目指す。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<ul style="list-style-type: none"> 次年度においては、運営の主軸となる宿泊飲食施設の民間貸付けによる、更なる民間の効果効率的な柔軟な運営、また、市事業の鬼文化PR事業等の展開によるエリアへの誘客など、官民連携した取組により、利用促進を図る。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	和紙伝承館管理事業				事業コード	230211						
政策体系	基本政策	8 市民一人ひとりが、時代の変化を先取りし、地域産業の発展に貢献できるまち			政策目標	2 DXを生かした商業・サービス業の活性化						
	施策名	2 市の特質を踏まえたキラリと光る観光戦略の推進			施策コード	822						
事業担当	所属	02100000 地域振興部 大江支所			所属長	神内 明宏						
会計情報	款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	11 地域交流推進費		会計	01 一般会計	決算付属資料	84	頁
計画期間	開始年度	平成17年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名				R4現在の状況	継続中		
根拠法令等												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的的事业 <input type="checkbox"/> その他 ()											
関連事業												

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	和紙伝承館は、かつての地場産業であった「丹後和紙」を後世へ伝承することを目的に設置された。本館では和紙の手漉き体験もでき丹後和紙について学習できる施設として観光・産業振興をテーマに地域活性化に寄与することを目的とする。											
対象者	来訪者(市民・観光客等)			対象者数	302		単位あたりコスト	12.5				
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()											
委託先・実施主体等	丹後二俣紙保存会、田中製紙工業所、アムスセキュリティサービス㈱											
事業概要 (箇条書き)	和紙伝承館の管理運営を行う経費。 和紙伝承館の開館は、土日祝日の午前10時から午後4時。但し、12月28日～1月3日は休館。 和紙伝承館での企画展を丹後二俣紙保存会に委託する。年3回開催する。 和紙手漉き体験を田中製紙工業所に委託する。10名以上の団体において予約にて対応。											
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)	主な業務内容									
	報酬	678	臨時職員報酬									
	職員手当等	43	職員手当									
	需用費	304	光熱水費(電気料、上下水道料)、燃料費、消耗品費									
	役務費	57	建物損害共済保険料、電話料									
委託料	284	手漉き和紙製作体験業務、和紙関連作品展示業務、警備業務等										

III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)	R3(評価年度)	R4(本年度)	R5(要求年度)				
予算情報	① 当初予算	1,985	1,960	2,016	2,100			
	② 補正予算	0	0	0	0			
	③ 繰越予算	0	0	0	0			
	前年度繰越	0	0	0	0			
	次年度繰越	0	0	0	0			
小計(①～③)	1,985	1,960	2,016	2,100				
予算財源内訳	① 一般財源	1,691	1,666	861	899			
	② 国支出金	0	0	861	899			
	③ 府支出金	0	0	0	0			
	④ 地方債	0	0	0	0			
	⑤ その他特財	294	294	294	302			
決算情報	① 流充用額	△ 575	△ 576					
	② 配当予算	1,410	1,384					
	③ 執行額	1,410	1,366					
	④ 執行率	100.0%	98.7%					
人概 工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.07 / 0.30	0.30 / 0.00	0.30 / 0.00	0.00 / 0.00			
	② 概算人件費	1,310	2,400	2,400	0			
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	2,720	3,766	2,400	0				
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	和紙伝承館使用料	種類	総務使用料	実績金額	42	10	頁
		和紙伝承館管理事業(地方創生推進交付金)		総務費国庫補助金		464	16	
		和紙伝承館体験料		雑入		54	46	

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	施設利用者数	人	741 / 1200	371 / 1200	302 / 1200	/ 1200	1200
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	開館日数	日	126 / 131	109 / 116	91 / 117	/ 116	-
	単位あたりコスト		15.8	12.9	15.0		
	単位あたりコスト		/	/	/	/	

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	<ul style="list-style-type: none"> 和紙伝承館において、和紙の製作過程の展示、また、手漉き和紙の体験等を実施し、丹後手漉き和紙の伝統文化を後世に継承するため、また、都市部等外部に情報を発信する施設として、市が関与し運営する。 市内児童が自ら手漉き和紙で卒業証書を作成するなど体験を通して郷土愛を育む取組の一環として当該施設が活用されている。 	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	<ul style="list-style-type: none"> 効率的な運営に向けて、開館日を誘客の回りやすい土日祝と定め、また、体験については、事前予約制として施設運営を行っている。 	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍の影響により、施設利用者数は、より低迷しているが、手漉き和紙という貴重な伝統文化を後世に継承するため、継続した事業が必要とされる。 児童が自ら手漉き和紙で卒業証書を作成するなど体験を通して郷土愛を育む取組の一環として当該施設が活用されている。 コロナ対策として、密を避けた和紙体験として、個人で体験可能な和紙を使用したうちわ体験を夏期限定で実施する。 	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	和紙伝承館は、地域の伝統産業であり貴重な文化である手漉き和紙の継承と観光振興による地域活性化を図るため、歴史と技の展示、製作体験、和紙を活用した作品の展示を行い、広く発信する施設として活用しており、市内児童による手漉き和紙による卒業証書の作成の取組など、継承に向けて一定目標を達成していると考えられるが、利用者数が低迷しており、有効な情報発信による利用者増が必要とされる。		
改善策	施設利用者数の向上が課題であり、文化財の修復に使われる価値の高い手漉き和紙であることを強くPRすることをはじめ、海の京都DMOなど他組織との連携を進め、効果ある情報発信を行う。 コロナ禍の影響を鑑み、一人でも体験できるうちわ製作体験等新たな商品の作成を進める。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	大江地域施設改修事業				事業コード	230256						
政策体系	基本政策	8 市民一人ひとりが、時代の変化を先取りし、地域産業の発展に貢献できるまち			政策目標	2 DXを生かした商業・サービス業の活性化						
	施策名	2 市の特質を踏まえたキラリと光る観光戦略の推進			施策コード	822						
事業担当	所属	02100000 地域振興部 大江支所			所属長	神内 明宏						
会計情報	款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	11 地域交流推進費		会計	01 一般会計	決算付属資料	86	頁
計画期間	開始年度	平成5年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名				R4現在の状況	継続中		
根拠法令等												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的的事业 <input type="checkbox"/> その他 ()											
関連事業												

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	大雲記念館等からなる「あしぎぬ大雲の里」や大江山グリーンロッジ等からなる「酒呑童子の里」の各施設の老朽箇所、損傷箇所の適切な修繕を行うことにより、施設機能の維持・建物の長寿命化及び利用者の安全性・利便性を確保する。											
対象者	観光客及び市民			対象者数	19,357		単位あたりコスト	0.2				
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()											
委託先・実施主体等												
事業概要 (箇条書き)	「酒呑童子の里」及び「あしぎぬ大雲の里」の施設の老朽箇所等の改修(修繕)を行う。											
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)		主な業務内容								
	需用費	904		施設修繕								
	工事請負費	1,650		酒呑童子の里木橋床板張替修繕工事								

III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)	R3(評価年度)	R4(本年度)	R5(要求年度)						
予算情報	① 当初予算	1,000	3,500	16,759	5,577					
	② 補正予算	0	0	0	0					
	③ 繰越予算	0	0	0	0					
	前年度繰越	0	0	0	0					
	次年度繰越	0	0	0	0					
小計(①～③)	1,000	3,500	16,759	5,577						
予算財源内訳	① 一般財源	0	0	0	65					
	② 国支出金	0	0	0	0					
	③ 府支出金	0	0	0	0					
	④ 地方債	0	0	16,000	4,600					
	⑤ その他特財	1,000	3,500	759	912					
決算情報	① 流充用額	878	△ 704							
	② 配当予算	1,878	2,796							
	③ 執行額	1,878	2,554							
	④ 執行率	100.0%	91.3%							
人概 工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.22 / 0.05	0.22 / 0.00	0.22 / 0.00	0.00 / 0.00					
	② 概算人件費	1,885	1,760	1,760	0					
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	3,763	4,314	1,760	0						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	地域振興施設維持補修基金繰入		種類	基金繰入金	実績金額	2,190	決算付属資料	38	頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	施設利用者数	人	40080 / 44700	20886 / 44700	19357 / 44700	/ 44700	44700
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	修繕及び改修等件数	回	4 / 2	6 / 3	6 / 5	/ 3	3
	単位あたりコスト		183.1	313.0	425.7		
	単位あたりコスト		/	/	/	/	

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	<ul style="list-style-type: none"> 施設の適正な維持管理のため施設修繕を行うことにより、利用者の安全、利便性の確保となり、都市部からの誘客、また、市民のレクリエーション等地域活性化の拠点施設としての運営が可能となる。 	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	<ul style="list-style-type: none"> 施設の長寿命化につながり、地域活性化拠点施設としての運営が持続できる。 	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	<ul style="list-style-type: none"> 施設利用者数は、コロナ禍の影響により、学生等の団体利用、また、大江地域への来訪者が低迷し、目標数達成が困難な状況であった。 本事業は、長期的視点から、施設を活用した地域振興策の継続のため、成果はある。 	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	施設の老朽箇所等の施設利用者の安全性・利便性を確保するため、また、施設長寿命化において有効な事業であるが、目的においては、施設を地域活性化拠点として活用することから、施設の運営において、利用向上の事業展開が必要である。		
改善策	大雲記念館等管理事業また大江山鬼瓦工房等管理事業と関連しており、民間の特性を活かした効果的な管理運営を目指し、また、市直営施設においては、地域振興に資する施設の新たな有効活用策の確立を目指し、活用の検討を進める。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合／組換 <input type="checkbox"/> 廃止／休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<ul style="list-style-type: none"> 次年度においては、老朽化施設の除却、除却後の広場整備等を予定しており、来訪者の安全性、景観維持等を図り、来訪者向上の促進を目指す。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	元伊勢観光センター管理事業				事業コード	230259	
政策体系	基本政策	8 市民一人ひとりが、時代の変化を先取りし、地域産業の発展に貢献できるまち			政策目標	2 DXを生かした商業・サービス業の活性化	
	施策名	2 市の特質を踏まえたキラリと光る観光戦略の推進			施策コード	822	
事業担当	所属	02100000 地域振興部 大江支所			所属長	神内 明宏	
会計情報	款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	11 地域交流推進費	
	会計	01 一般会計		決算付属資料	86		頁
計画期間	開始年度	平成23年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	R4現在の状況 継続中	
根拠法令等							
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()						
関連事業							

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	丹後天橋立大江山国定公園の大江山や元伊勢三社の観光案内機能を持たせ、国定公園の玄関口・誘客拠点として観光による地域振興を目指す。						
対象者	来訪者(観光客等)		対象者数	1,270	単位あたりコスト	2.4	
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()						
委託先・実施主体等	大江地域観光案内倶楽部 どぶろく研究会						
事業概要 (箇条書き)	元伊勢観光センターの施設維持(建物損害共済保険料、借地料、光熱水費、老朽箇所・損傷箇所修繕)のための経費。大江山、元伊勢3社等大江地域の観光案内所として運営する。						
主な支出に係る業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)	主な業務内容				
	需用費	267	光熱水費(電気料、上下水道料)、燃料費、消耗品費				
	役員費	110	建物損害共済保険料、電話料				
	委託料	556	大江ふるさと観光案内業務、トイレ等施設清掃業務、駐車場除雪業務				

III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)	R3(評価年度)	R4(本年度)	R5(要求年度)				
予算情報	① 当初予算	1,106	988	1,014	979			
	② 補正予算	0	0	0	0			
	③ 繰越予算	0	0	0	0			
	前年度繰越	0	0	0	0			
	次年度繰越	0	0	0	0			
小計(①~③)	1,106	988	1,014	979				
予算財源内訳	① 一般財源	842	736	768	729			
	② 国支出金	0	0	0	0			
	③ 府支出金	0	0	0	0			
	④ 地方債	0	0	0	0			
	⑤ その他特財	264	252	246	250			
決算情報	① 流充用額	0	0					
	② 配当予算	1,106	988					
	③ 執行額	1,093	933					
	④ 執行率	98.8%	94.4%					
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.06 / 0.30	0.27 / 0.00	0.27 / 0.00	0.00 / 0.00			
	② 概算人件費	1,230	2,160	2,160	0			
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	2,323	3,093	2,160	0				
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	元伊勢観光センター貸付収入	種類	財産貸付収入	実績金額	126	32	頁
		元伊勢観光センター自販機電気代		雑入		41	44	
		元伊勢観光センター使用者負担金		雑入		79	46	

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	施設利用者数	人	1903 / 2000	1852 / 2000	1270 / 2000	/ 2000	2000
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	開設日	件	141 / 149	99 / 116	90 / 117	/ 116	116
	単位あたりコスト		9.3	11.0	10.4		
	単位あたりコスト		/	/	/	/	

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	<ul style="list-style-type: none"> 本施設は、大江山のルート上、かつ、元伊勢三社の近隣にあり、観光案内に適した位置となる。本施設において、土日に観光案内所を開設し、パンフレットによる情報だけでなく、ガイドを介して丁寧な情報提供により観光客の満足向上を図り、観光振興を進めている。 あわせて、施設一部貸付を行い、民間による飲食の提供を行っている。 	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	<ul style="list-style-type: none"> 観光案内に関しては、効率性を高めるため、週末、祝祭日の利用が見込まれる日時を主に開設日と開設時間を設定している。 一部施設の貸付を行い、施設有効活用を含め、効率的な施設の維持管理を行っている。 	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	<ul style="list-style-type: none"> ガイドによる観光情報の提供により、観光客の満足度向上が図られ、観光振興に有効性が高い事業である。 	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<p>当該施設は、丹後天橋立大江山国定公園や元伊勢三社など多くの観光資源を有し、かつ大江において多くの観光客が訪れる地域の観光案内施設として運営し、ガイドを介した丁寧な観光情報の提供により観光客の満足度向上に資するなど観光振興の一端を担っており、一定事業目的を達成していると考えられる。</p>		
改善策	<p>観光振興の取組みとして、地域住民を主体に観光ボランティアガイドの育成を行い、観光地でのおもてなし土壌の強化による、観光客の更なる満足度向上を図る。</p>		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	観光関連施設管理事業				事業コード	230261					
政策体系	基本政策	8 市民一人ひとりが、時代の変化を先取りし、地域産業の発展に貢献できるまち			政策目標	2 DXを生かした商業・サービス業の活性化					
	施策名	2 市の特質を踏まえたキラリと光る観光戦略の推進			施策コード	822					
事業担当	所属	02100000 地域振興部 大江支所			所属長	神内 明宏					
会計情報	款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	11 地域交流推進費	会計	01 一般会計	決算付属資料	86	頁
計画期間	開始年度	平成24年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名			R4現在の状況	継続中		
根拠法令等											
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的業務 <input type="checkbox"/> その他 ()										
関連事業											

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	観光地にある公衆トイレの適正な維持管理により、観光振興の推進、観光客の満足度向上、観光入込客数の増加を図る。										
対象者	来訪者(観光客等)				対象者数	13,490		単位あたりコスト	0.3		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()										
委託先・実施主体等	(株)クリア 大江観光(株)										
事業概要 (箇条書き)	観光地の公衆トイレの適正な維持管理を行う。 公衆トイレ(5か所)の維持管理委託及び光熱水費の経費。 公衆トイレ(1か所)の清掃業務委託の経費。 観光関連施設(大江山グリーンロッジ、公衆トイレ5か所)の建物損害共済保険料。 観光関連施設の土地賃借料。										
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目		支出実績(R3)		主な業務内容						
	需用費		360		光熱水費(電気料、上下水道料) 修繕料(トイレ修繕)						
	役員費		155		手数料(浄化槽法定検査等) 保険料(建物共済分担金)						
	委託料		2,310		維持管理業務(トイレ維持管理業務(5件)) 施設清掃業務(トイレ清掃管理業務(1件))						
	使用料及び賃借料		15		土地借上料(電線架線のための土地賃借料)						

III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)	R3(評価年度)	R4(本年度)	R5(要求年度)						
予算情報	① 当初予算	2,652	2,873	2,904	3,262					
	② 補正予算	0	0	0	0					
	③ 繰越予算	0	0	0	0					
	前年度繰越	0	0	0	0					
	次年度繰越	0	0	0	0					
小計(①～③)	2,652	2,873	2,904	3,262						
予算財源内訳	① 一般財源	2,224	843	2,479	3,262					
	② 国支出金	0	0	0	0					
	③ 府支出金	0	0	0	0					
	④ 地方債	0	0	0	0					
	⑤ その他特財	428	2,030	425	0					
決算情報	① 流充用額	34	△ 7							
	② 配当予算	2,686	2,866							
	③ 執行額	2,685	2,840							
	④ 執行率	100.0%	99.1%							
人概 工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.06 / 0.25	0.20 / 0.00	0.20 / 0.00	0.00 / 0.00					
	② 概算人件費	1,105	1,600	1,600	0					
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	3,790	4,440	1,600	0						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	大江山グリーンロッジ貸付収入		種類	財産貸付収入	実績金額	425	決算付属資料	32	頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	大江山入込客数	人	29180 / 30000	15010 / 30000	13490 / 30000	/ 30000	30000
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	管理施設数	件	6 / 6	6 / 6	6 / 6	/ 6	6
	単位あたりコスト		449.5	447.5	473.3		
	単位あたりコスト		/	/	/	/	

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	<ul style="list-style-type: none"> 大江山や周辺を観光される方に安心して快適に過ごしていただくために観光トイレの清掃また設備の維持管理を行う。 	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	<ul style="list-style-type: none"> 専門業者への委託により、業務内容を精査の上、観光トイレの適正な経費で事業を実施している。 	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍の影響を受け、大江山周辺を訪れる観光客は、通常時より大きく減少しているが、自由使用できる公衆トイレは、観光客が安心して快適に過ごしていただくために必要な施設であり、継続し、維持管理を行なう。 	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<p>大江山や周辺を観光される方に安全で快適に過ごしていただくためのハイキング道や観光トイレの維持管理は必要である。大江山や周辺を観光される方に快適に過ごしていただく条件を整備することにより、観光客の満足度を高めることができる。R2、R3は、コロナ禍の影響を受け、大江山周辺を訪れる観光客は、大きく減少した。自由使用できる公衆トイレは、観光客が安心して快適に過ごしていただくために必要な施設であり、継続した維持管理により、来訪者の満足向上等一定目的を達成していると考えられる。</p>		
改善策	<p>コロナ禍の影響により、来訪者の減少となったが、他観光宿泊施設との連携により、地域資源である大江山の魅力、鬼の魅力等地域情報の発信を積極的に行い、来訪者の増加につなげる。</p>		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合／組換 <input type="checkbox"/> 廃止／休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	日本鬼文化交流事業				事業コード	130117	
政策体系	基本政策	8 市民一人ひとりが、時代の変化を先取りし、地域産業の発展に貢献できるまち			政策目標	2 DXを生かした商業・サービス業の活性化	
	施策名	2 市の特質を踏まえたキラリと光る観光戦略の推進				施策コード	822
事業担当	所属	25050000 産業政策部 産業観光課			所属長	山田 信義	
会計情報	款	07 商工費	項	01 商工費	目	03 観光費	
	会計	01 一般会計		決算付属資料	-		
計画期間	開始年度	平成18年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名		
	R4現在の状況	継続中					
根拠法令等	福知山市大江山酒吞童子祭り補助金交付要綱						
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()						
関連事業							

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	大江山酒吞童子祭りを通じて鬼伝説が残る「福知山市大江町の鬼」を全国に発信することにより、鬼伝説を観光・交流コンテンツとして大江地域の活性化を図る。また鬼に関する市町(兵庫県川西市、静岡県小山町)との相互交流により絆を深める。						
対象者	大江山酒吞童子祭り実行委員会		対象者数	4,500	単位あたりコスト	0.0	
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()						
委託先・実施主体等	大江山酒吞童子祭り実行委員会						
事業概要 (箇条書き)	大江山酒吞童子祭り実行委員会に対する事業費支援 新型コロナウイルス感染症拡大のため、中止。						
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)	主な業務内容				

III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)	R3(評価年度)	R4(本年度)	R5(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	1,744	1,844	1,901	1,901				
	② 補正予算	0	0	0	0				
	③ 繰越予算	0	0	0	0				
	前年度繰越	0	0	0	0				
	次年度繰越	0	0	0	0				
小計(①～③)	1,744	1,844	1,901	1,901					
予算財源内訳	① 一般財源	0	0	0	0				
	② 国支出金	0	0	0	0				
	③ 府支出金	0	0	0	0				
	④ 地方債	0	0	0	0				
	⑤ その他特財	1,744	1,844	1,901	1,901				
決算情報	① 流充用額	0	0						
	② 配当予算	1,744	1,844						
	③ 執行額	0	0						
	④ 執行率	0.0%	0.0%						
人概 工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.00 / 0.00	0.02 / 0.00	0.02 / 0.00	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	0	160	160	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	0	160	160	0					
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	観光入込客数	人	1116577 / 942000	892414 / 942000	594167 / 942000	/ 942000	942000
大江山酒吞童子祭参加者	人	1500 / 2500	0 / 0	0 / 2500	/ 2500	2500	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	日本鬼師の会大会・理事会	回	2 / 4	0 / 4	0 / 4	/ 4	4
	単位あたりコスト		565.5	0.0			
	鬼にかかわる相互交流	回	3 / 6	0 / 6	0 / 6	/ 6	3
単位あたりコスト		337.0	0.0				

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	大江山の鬼伝説を交流コンテンツとして活用した事業であり、大江地域の個性を活かした地域づくりには必要である。実行委員会を中心にイベント開催の可否について検討を進めたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止とした。	<input type="checkbox"/> 高い <input checked="" type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	イベントが中止となったため、大江山酒吞童子祭り実行委員会に対して補助金を支出しなかった。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	鬼でつながりのある兵庫県川西市や静岡県小山町の祭りへの相互参加を例年実施していたが、コロナ禍ということもあり、交流を図ることができなかった。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により開催されなかった。令和3年度も開催に向けて実行委員会で検討を進めたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止となった。近年、マンガやアニメの影響で「鬼」に注目が集まっており、「福知山＝鬼のまち」の認知獲得のため、秘書広報課が「鬼文化PR事業」を実施し、鬼のプロモーションを行っている。そこで獲得した認知をいかに酒吞童子祭りに参加してもらおうという行動変容につなげていくかが課題である。		
改善策	令和4年度の「鬼文化PR事業」では、さらなる認知獲得と本市への来訪を促す企画を実施する予定である。日本の鬼の交流博物館や鬼の像などの観光スポットだけではなく、鬼にちなんだ祭りがあることもあわせて発信することで、秘書広報課と連携して認知獲得、誘客を図っていく。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合／組換 <input type="checkbox"/> 廃止／休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	観光おもてなし促進事業				事業コード	230101						
政策体系	基本政策	8 市民一人ひとりが、時代の変化を先取りし、地域産業の発展に貢献できるまち			政策目標	2 DXを生かした商業・サービス業の活性化						
	施策名	2 市の特質を踏まえたキラリと光る観光戦略の推進				施策コード	822					
事業担当	所属	25050000 産業政策部 産業観光課			所属長	山田 信義						
会計情報	款	07 商工費	項	01 商工費	目	03 観光費		会計	01 一般会計	決算付属資料	180	頁
計画期間	開始年度	平成1年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名				R4現在の状況	継続中		
根拠法令等												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的的事业 <input type="checkbox"/> その他 ()											
関連事業												

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	本市の観光資源である福知山城をはじめとした明智光秀ゆかりのスポット及び鬼伝説にまつわるスポットの観光ハイキングを実施することで、本市への観光誘客を図り、観光産業の活性化につなげる。また、次世代の観光ガイドを育成し、継続した取り組みの実施につなげる。											
対象者	ディスカバーウエストハイキング参加者			対象者数	110		単位あたりコスト	13.8				
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()											
委託先・実施主体等												
事業概要 (箇条書き)	○本市への来訪者を市民自らがもてなす「まちづくり観光」を实践するため、観光ガイド養成講座を実施。 (1)福知山観光ガイド塾「明智光秀版」 開催日：令和3年11月7日、11月14日、12月5日、12月12日 参加者：2人 (2)福知山観光ガイド塾「鬼伝説版」 開催日：令和4年2月5日、2月19日、3月5日、3月12日 (新型コロナウイルスのため中止) 申込者：9人 ○JR西日本との連携によるディスカバーウエストハイキングを実施。											
主な支出に係る業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)		主な業務内容								
	報償費	243		観光ハイキング(ディスカバーウエストハイキング)にかかる報償費								

III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)	R3(評価年度)	R4(本年度)	R5(要求年度)						
予算情報	① 当初予算	402	402	459	517					
	② 補正予算	0	0	0	0					
	③ 繰越予算	0	0	0	0					
	前年度繰越	0	0	0	0					
	次年度繰越	0	0	0	0					
小計(①～③)	402	402	459	517						
予算財源内訳	① 一般財源	0	0	0	0					
	② 国支出金	0	0	0	0					
	③ 府支出金	0	0	0	0					
	④ 地方債	0	0	0	0					
	⑤ その他特財	402	402	459	517					
決算情報	① 流充用額	0	0							
	② 配当予算	402	402							
	③ 執行額	347	243							
	④ 執行率	86.3%	60.4%							
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.10 / 0.00	0.16 / 0.00	0.16 / 0.00	0.00 / 0.00					
	② 概算人件費	800	1,280	1,280	0					
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	1,147	1,523	1,280	0						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	観光おもてなし促進事業基金繰入		種類	基金繰入金	実績金額	200	決算付属資料	38	頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	観光ガイド数	人	42 / 30	47 / 30	47 / 30	47 / 30	30
受講者数	人	27 / 30	11 / 30	2 / 30	2 / 30	30	30
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	養成講座実施数	回	7 / 7	6 / 7	3 / 7	7	7
	単位あたりコスト		49.5	57.8	81.0		
	単位あたりコスト		/	/	/	/	

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	<p>ディスカバーウエストハイキングでは、観光ガイドが解説を行いながら、①明智光秀ゆかりの地 ②元伊勢エリアを巡る2コースを実施している。おもてなしの精神を持った観光ガイドによる詳しい解説付きツアーを実施することによってリピーターの獲得を図っている。</p>	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	<p>ガイド団体に対する謝金であり最小限度の支出をしている。 また、ディスカバーウエストハイキングは、JR西日本が事業として広報しており、HPやチラシ等で集客を図っているほか、本市が参画する海の京都DMO等の告知媒体でも積極的に広報を行っている。</p>	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	<p>ガイド養成講座の実施により、ガイド人材確保と観光客の満足度を高め、リピーターとして訪れてもらうよう、ガイドの質の向上を図っている。</p>	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<p>JRのパンフレットや海の京都の広報媒体(αステーション)、ロコミ等により、個人を中心に京阪神から参加者があつた。サポート会員の開設などにより目標のガイド人数に達しているが、一方でガイドの高齢化が進んでいる。福知山公立大学の学生に講座を受講してもらうなど若年層へのアプローチも行っているが、学業との兼ね合いで実際のガイド活動までは至っていない。</p>		
改善策	<p>ガイド養成に特化した講座ではなく、福知山市の観光全般について幅広く学ぶ講座に内容を見直し、参加対象者を拡大する。また、講座の実施にかかる事務を福知山観光協会に委託し、観光協会会員の参加も促していくことで、観光に関わる団体のおもてなし力の向上も図る。</p>		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	観光友好都市交流事業				事業コード	230109	
政策体系	基本政策	8 市民一人ひとりが、時代の変化を先取りし、地域産業の発展に貢献できるまち			政策目標	2 DXを生かした商業・サービス業の活性化	
	施策名	2 市の特質を踏まえたキラリと光る観光戦略の推進				施策コード	822
事業担当	所属	25050000 産業政策部 産業観光課			所属長	山田 信義	
会計情報	款	07 商工費	項	01 商工費	目	03 観光費	
	会計	01 一般会計		決算付属資料	-		頁
計画期間	開始年度	平成25年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名		
	R4現在の状況	廃止/休止					
根拠法令等	観光友好都市提携						
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的的事业 <input type="checkbox"/> その他 ()						
関連事業							

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	かつて本市に西日本の三大家畜市場があり、全国の流通を支えた歴史的な背景から、現在も精肉店や焼肉店を中心に様々な「肉」を扱った店舗が多く存在している。食文化としての肉を新たな観光コンテンツとし「肉のまち福知山」をPRすることで観光振興による地域活性化を図る。						
対象者	市内小中学生	対象者数	7,000	単位あたりコスト	0.0		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()						
委託先・実施主体等							
事業概要 (箇条書き)	○「夏休み富士山チャレンジ自然体験」の実施 事業内容：富士登山と小山町との交流 参加対象：市内の中学1～3年生 ○「鬼伝説交流事業」の実施 事業内容：小山町の児童を本市に招き、本市の子どもたちと交流を図る ※新型コロナウイルス感染拡大のため、R2～R4は事業を休止						
主な支出に係る業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)	主な業務内容				

III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)	R3(評価年度)	R4(本年度)	R5(要求年度)	
予算情報	① 当初予算	0	0	0	1,436
	② 補正予算	0	0	0	0
	③ 繰越予算	0	0	0	0
	前年度繰越	0	0	0	0
	次年度繰越	0	0	0	0
小計(①～③)	0	0	0	1,436	
予算財源内訳	① 一般財源	0	0	0	1,200
	② 国支出金	0	0	0	0
	③ 府支出金	0	0	0	0
	④ 地方債	0	0	0	0
	⑤ その他特財	0	0	0	236
決算情報	① 流充用額	0	0		
	② 配当予算	0	0		
	③ 執行額	0	0		
	④ 執行率				
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.00 / 0.00	0.00 / 0.00	0.00 / 0.00	0.00 / 0.00
	② 概算人件費	0	0	0	0
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	0	0	0	0	
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	種類	実績金額	決算付属資料	頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	富士山登山参加数	人	14 / 14	/ 14	/ 14	/ 14	/ 14
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	実施回数	回	1 / 1	/ 1	/ 1	/ 1	1
	単位あたりコスト		1800.0	0.0			
	単位あたりコスト		/	/	/	/	

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	平成24年に提携した観光友好都市静岡県小山町との交流を今後も継承し、将来にわたる絆を深めるために必要である。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、R2～R4は事業を中止とした。	<input type="checkbox"/> 高い <input checked="" type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	平成30年度からは富士山登山参加者から負担金を徴収しており、歳入確保に努めている。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	両市町の親交をさら深めるためには、市民(小中学生同士)の交流が有効である。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	○小山町の子どもたちと交流を図ることで、お互いのまちに対する愛着心の醸成につながっている。 ○募集については、各中学校へ案内を配布、参加申込は毎年30名程度を受付している状況であるが、受入先の態勢で14人である。		
改善策	参加希望者全員に事業に参加していただきたいが、小山町側の受入れの都合もあり、14人の参加が最大となっている。小山町の小学生を本市に迎え入れる事業への参加を促していく必要がある。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	令和5年度より事業を再開する予定である。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	観光振興一般管理事業				事業コード	230125						
政策体系	基本政策	8 市民一人ひとりが、時代の変化を先取りし、地域産業の発展に貢献できるまち			政策目標	2 DXを生かした商業・サービス業の活性化						
	施策名	2 市の特質を踏まえたキラリと光る観光戦略の推進				施策コード	822					
事業担当	所属	25050000 産業政策部 産業観光課			所属長	山田 信義						
会計情報	款	07 商工費	項	01 商工費	目	03 観光費		会計	01 一般会計	決算付属資料	180	頁
計画期間	開始年度	平成1年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名				R4現在の状況	継続中		
根拠法令等												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input checked="" type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()											
関連事業												

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	観光振興業務を円滑に執行する。											
対象者							対象者数			単位あたりコスト		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()											
委託先・実施主体等	株式会社能見土建											
事業概要 (箇条書き)	観光振興業務を円滑に執行するための内部事務経費											
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)	主な業務内容									
	旅費	81	普通旅費									
	需用費・使用料及び賃借料	29	消耗品費、高速料金等通行料									
	役務費	153	通信運搬費等									
	委託料	292	観光案内看板撤去業務									
	負担金補助及び交付金	648	加盟団体への負担金									

III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)	R3(評価年度)	R4(本年度)	R5(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	1,750	1,629	3,270	3,411				
	② 補正予算	0	0	0	0				
	③ 繰越予算	0	0	0	0				
	前年度繰越	0	0	0	0				
	次年度繰越	0	0	0	0				
小計(①～③)	1,750	1,629	3,270	3,411					
予算財源内訳	① 一般財源	1,715	1,606	3,247	3,388				
	② 国支出金	0	0	0	0				
	③ 府支出金	0	0	0	0				
	④ 地方債	0	0	0	0				
	⑤ その他特財	35	23	23	23				
決算情報	① 流充用額	△ 4	217						
	② 配当予算	1,746	1,846						
	③ 執行額	1,192	1,202						
	④ 執行率	68.3%	65.1%						
人概 工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.15 / 0.00	0.16 / 0.00	0.16 / 0.00	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	1,200	1,280	1,280	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	2,392	2,482	1,280	0					
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	観光テレホンカード	種類	物品売払収入	実績金額	1	決算付属資料	34	頁
		福知山十景絵はがき		物品売払収入		3		34	
		観光振興一般管理事業(きょうと地域連携交付金)		商工費府補助金		183		28	

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	観光入込客数	人	1116577 / 942000	892414 / 942000	594167 / 942000	/ 942000	942000
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	連携する広域観光団体	団体	3 / 3	3 / 3	3 / 3	/ 3	3
	単位あたりコスト		652.5	397.3	400.7		
	単位あたりコスト		/	/	/	/	

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	<p>観光振興行政にかかる事務経費であり、関係団体との連携や観光振興事務を円滑に実施するために必要である。</p> <p>大丹波観光推進委員会では、コロナ禍によりリアルイベントが開催できないことから、JAFと連携しデジタルスタンプラリーを実施した。</p>	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	<p>広域観光団体との連携においては、観光プロモーションなど単独でできないことはスケールメリットを活かし広域で取り組んでいる。</p>	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	<p>海の京都DMO、森の京都DMO以外の広域観光団体に関する負担金の予算を計上し毎年定額を支払っている。</p> <p>旅行者は自治体単位ではなく、市町、府県をまたいだエリアで観光しているため、広域観光団体との連携は有効である。</p>	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<p>郵送料や事務用品等の事務経費は、必要最小限となるよう十分に審査し支出している。</p> <p>また、広域団体との連携においては、単独でできないスケールメリットを活かしたプロモーション等に取り組んだ。</p> <p>一方で、令和3年度は緊急事態宣言の発令期間が長期間に及んだため、十分な誘客促進が図れていないが、令和4年度においてはワクチン接種が進んでいることから、アフターコロナを見据えた今後の展開を各団体と協議していく必要がある。</p>		
改善策	<p>本市が参画する広域観光団体は、海の京都DMO、森の京都DMOのほか、京都府観光連盟、北近畿広域観光連盟、大江山観光開発協議会、大丹波観光推進委員会があり、それぞれの団体に強みがある。</p> <p>リアルでの観光イベントが徐々に再開され始めているため、広域観光団体と調整しながらリアルとオンラインを活用した観光促進事業を推進していく。</p>		

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	福知山踊り振興事業				事業コード	230130						
政策体系	基本政策	8 市民一人ひとりが、時代の変化を先取りし、地域産業の発展に貢献できるまち			政策目標	2 DXを生かした商業・サービス業の活性化						
	施策名	2 市の特質を踏まえたキラリと光る観光戦略の推進			施策コード	822						
事業担当	所属	25050000 産業政策部 産業観光課			所属長	山田 信義						
会計情報	款	07 商工費	項	01 商工費	目	03 観光費		会計	01 一般会計	決算付属資料	180	頁
計画期間	開始年度	平成1年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名				R4現在の状況	継続中		
根拠法令等	福知山ドッコイセまつり補助金交付要綱、ドッコイセフェスティバル補助金交付要綱											
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事业 <input type="checkbox"/> その他 ()											
関連事業												

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	市内の各団体に対して福知山踊りの講師を派遣することにより、市無形民俗文化財であり400年の伝統ある「福知山踊り」の振興と発展及び踊り手の育成を図り、福知山踊りの伝統を後世に伝えていく。また、「福知山踊り」を普及することで、「ドッコイセまつり」や「ドッコイセフェスティバル」の関連イベントの活性化を図り、踊りの参加者増加や観光誘客につなげる。											
対象者	観光客及び市民	対象者数	10,500	単位あたりコスト	0.2							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()											
委託先・実施主体等	福知山踊り振興会、福知山ドッコイセまつり実行委員会											
事業概要 (箇条書き)	○「福知山ドッコイセまつり実行委員会」への補助金 【福知山ドッコイセまつり】新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止 ○「福知山踊り振興会」への補助金 【ドッコイセフェスティバル】令和3年8月7日開催 ○市内の各団体からの要望により福知山踊りの講師を派遣する。											
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)	主な業務内容									
	委託料	87	福知山踊り講師派遣委託料									
	負担金補助及び交付金	410	ドッコイセフェスティバル運営補助金									

III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)	R3(評価年度)	R4(本年度)	R5(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	1,945	2,706	2,706	2,206				
	② 補正予算	△ 1,580	0	0	0				
	③ 繰越予算	0	0	0	0				
	前年度繰越	0	0	0	0				
	次年度繰越	0	0	0	0				
小計(①～③)	365	2,706	2,706	2,206					
予算財源内訳	① 一般財源	0	0	0	0				
	② 国支出金	0	0	0	0				
	③ 府支出金	0	0	0	0				
	④ 地方債	0	0	0	0				
	⑤ その他特財	365	2,706	2,706	2,206				
決算情報	① 流充用額	0	0						
	② 配当予算	365	2,706						
	③ 執行額	116	497						
	④ 執行率	31.8%	18.4%						
人概 工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.18 / 0.00	0.16 / 0.00	0.16 / 0.00	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	1,440	1,280	1,280	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	1,556	1,777	1,280	0					
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	福知山踊り振興事業基金繰入	種類	基金繰入金	実績金額	410	決算付属資料	38	頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	受講者数	人	2048 / 1500	509 / 1500	397 / 1500	/ 1500	1500
踊り参加者	人	10500 / 9000	0 / 9000	0 / 9000	/ 9000	9000	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	派遣回数(単価契約)	回	39 / 45	12 / 45	9 / 45	/ 45	45
	単位あたりコスト		9.5	9.7	55.2		
	単位あたりコスト		/	/	/	/	

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	市内の保育園や小学校等から福知山踊りを学びたいというニーズに応える事業であり、令和3年度は主に保育園や小学校、高校に対して講師派遣を行った。福知山踊り振興会と連携して若年層に対してアプローチを行うことは、本市の無形民俗文化財である福知山踊りを次世代に継承していくために必要であり、優先的に取り組むべき事業である。	<input type="checkbox"/> 高い <input checked="" type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	講師派遣にかかる経費は、福知山踊り振興会への委託料だけであり、会場費用は受講者負担のため最小限度の支出に努めている。また、福知山踊りの指導とあわせて、踊りの起源となった福知山城築城や明智光秀についての講話も行うことで、地域の歴史を知る機会も提供できた。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	新型コロナウイルス感染症の影響により、派遣回数、受講人数ともに目標には届かなかったが、8月に開催された「ドッコイセフェスティバル」に踊り指導を受けた学校が出演して練習の成果を発表した。会場には子どもの発表を見るため保護者が多数訪れ、幅広い世代が福知山踊りに接する機会となった。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	本市の伝統文化を保存、継承する役割を果たしている。福知山踊り講師派遣については毎年、年間約40件程度派遣があり、参加総人数も2000人で推移していることから一定ニーズがある。令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響により各団体からの派遣依頼が9件、参加人数は397人と、前年度に続き例年に比べて大幅に減少した。特に保育園、幼稚園、小学校からの派遣依頼が減っていることから、若い世代が福知山踊りに接する機会が少なくなることが懸念される。		
改善策	コロナ前は定期的に踊り指導を受けていた学校や各団体に対して、感染症対策を十分に行って踊り指導をしていることを周知することで、派遣回数、参加者数の増加に努めていく。また、ドッコイセフェスティバルやドッコイセまつりなどの関連イベントの際に講師派遣の紹介を行うことで、踊りに関心のある層に対してもアプローチを行っていく。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	観光案内所管理運営事業				事業コード	230131						
政策体系	基本政策	8 市民一人ひとりが、時代の変化を先取りし、地域産業の発展に貢献できるまち			政策目標	2 DXを生かした商業・サービス業の活性化						
	施策名	2 市の特質を踏まえたキラリと光る観光戦略の推進			施策コード	822						
事業担当	所属	25050000 産業政策部 産業観光課			所属長	山田 信義						
会計情報	款	07 商工費	項	01 商工費	目	03 観光費		会計	01 一般会計	決算付属資料	180・182	頁
計画期間	開始年度	平成1年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名				R4現在の状況	継続中		
根拠法令等												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的的事业 <input type="checkbox"/> その他 ()											
関連事業												

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	本市の玄関口であるJR福知山駅北口に観光案内所を設置することで、観光客に対して福知山観光の案内やサービスを提供し、満足度の向上を図る。											
対象者	観光案内所来訪者	対象者数	12,504	単位あたりコスト	0.8							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()											
委託先・実施主体等	(一社)京都府北部地域連携都市圏振興社福知山地域本部、アムス・セキュリティサービス(株)											
事業概要 (箇条書き)	・観光案内所への来場者に対する案内業務 ・観光情報の発信業務 ・観光ギャラリーの管理業務											
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)	主な業務内容									
	需用費	99	光熱水費等									
	委託料	7,634	観光案内所管理運営業務、観光案内所警備業務									
	使用料及び賃借料	411	土地建物借上料									
	負担金補助及び交付金	513	電気代相当額									

III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)	R3(評価年度)	R4(本年度)	R5(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	8,625	8,617	8,796	9,744				
	② 補正予算	0	0	0	0				
	③ 繰越予算	0	0	0	0				
	前年度繰越	0	0	0	0				
	次年度繰越	0	0	0	0				
小計(①～③)	8,625	8,617	8,796	9,744					
予算財源内訳	① 一般財源	0	0	0	0				
	② 国支出金	0	0	0	0				
	③ 府支出金	0	0	0	0				
	④ 地方債	0	0	0	0				
	⑤ その他特財	8,625	8,617	8,796	9,744				
決算情報	① 流充用額	0	80						
	② 配当予算	8,625	8,697						
	③ 執行額	8,551	8,657						
	④ 執行率	99.1%	99.5%						
人概 工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.25 / 0.00	0.16 / 0.00	0.16 / 0.00	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	2,000	1,280	1,280	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	10,551	9,937	1,280	0					
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	観光案内所管理運営事業基金繰入	種類	基金繰入金	実績金額	7,158	決算付属資料	38	頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	観光入込客数	人	1116577 / 942000	892414 / 942000	594167 / 942000	/ 942000	942000
推奨土産品登録数	個	158 / 166	173 / 166	168 / 166	/ 166	166	166
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	観光案内所開所日数	日	359 / 359	340 / 365	361 / 361	/ 361	365
	単位あたりコスト		21.9	25.2	24.0		
	単位あたりコスト		/	/	/	/	

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	<p>年末年始を除く期間中、午前9時から午後6時まで開所し、本市を訪れる観光客に対して、観光情報や観光スポット、飲食店等の情報を提供することで観光客の満足度向上に努めた。旅前の観光客に対してもHPやSNSで情報発信を積極的に行っており、本市の観光面における必要性は高い。</p>	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	<p>委託業務として観光案内所の管理運営業務の経費を必要最小限となるよう十分精査している。平成30年度から自己資金獲得のため、観光協会が土産品販売を開始しており、森の京都DMO等が福知山でのツアーを設定した際に土産購入先として立ち寄り箇所に加えるなど、連携して収入の確保を図っている。</p>	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	<p>新型コロナウイルスの影響による緊急事態宣言やまん延防止等重点措置が長期間発令されたため、観光入込客数が目標に及ばなかった。大河ドラマの放送を機に種類や内容が充実した土産品を市民向けにも企画販売することで、新たな需要の掘り起こしを図った。年末年始を除く期間、開所しているメリットを生かして、ICOCAキャンペーンの抽選会場としても活用した。</p>	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<p>大河ドラマの影響で観光案内所への来訪者が増加したが、令和3年度は新型コロナウイルスの影響による緊急事態宣言やまん延防止等重点措置が長期間発令されたため、来訪者が前年度から半減した。(来訪者数:平成30年度15,746人、令和元年度24,728人、令和2年度22,525人、令和3年度12,504人) 福知山の玄関口である福知山駅に案内所を構えており、観光情報の提供や土産品の購入、飲食店、交通手段の案内等、当地を訪れる観光客からの幅広いニーズに対応している。 一方で、観光キャンペーンや旅行会社との商談会の中止により、福知山の観光を直接的にPRする機会が減っているため、SNSを活用したより積極的な情報発信を行っていく必要がある。</p>		
改善策	<p>コロナ前よりも規模は縮小されているが、リアルでの観光イベントが徐々に再開されていることから、市外で開催されるイベントに行政と観光協会と連携して参加しプロモーションを行うことで、本市への誘客を促していく。</p>		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<p>観光客に対して本市の観光情報等を提供しており、本市の観光面における必要性は高いため、引き続き案内所を運営していく。</p>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	観光パンフレット作成事業				事業コード	230139						
政策体系	基本政策	8 市民一人ひとりが、時代の変化を先取りし、地域産業の発展に貢献できるまち			政策目標	2 DXを生かした商業・サービス業の活性化						
	施策名	2 市の特質を踏まえたキラリと光る観光戦略の推進			施策コード	822						
事業担当	所属	25050000 産業政策部 産業観光課			所属長	山田 信義						
会計情報	款	07 商工費	項	01 商工費	目	03 観光費		会計	01 一般会計	決算付属資料	182	頁
計画期間	開始年度	平成20年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名				R4現在の状況	他事業へ統合		
根拠法令等												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()											
関連事業												

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	本市の魅力を紹介する観光パンフレットを作成し、市内外の観光施設や道の駅等に配架を行うほか、旅行会社との商談会や観光キャンペーン等で活用することで、PRと誘客を図る。											
対象者	観光入込客	対象者数	594,167		単位あたりコスト	0.0						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()											
委託先・実施主体等												
事業概要 (箇条書き)	・近年の観光動向、本市のプロモーションコンテンツを反映し、従来の観光パンフレット(総合パンフレット)をリニューアル発行したほか、鬼に特化したパンフレットの増刷を行った。 総合パンフレット:発行部数 16,500部(日本語、英語、簡体字、繁体字、韓国語) 鬼パンフレット:増刷部数 5,000部 ・パンフレットは道の駅や周辺観光施設へ配架し、本市のPRを図った。											
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)	主な業務内容									
	需用費	2,126	印刷製本費									
	役務費	5	広告料									

III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)	R3(評価年度)	R4(本年度)	R5(要求年度)				
予算情報	① 当初予算	2,471	2,899	6,630	0			
	② 補正予算	0	0	0	0			
	③ 繰越予算	0	0	0	0			
	前年度繰越	0	0	0	0			
	次年度繰越	0	0	0	0			
小計(①～③)	2,471	2,899	6,630	0				
予算財源内訳	① 一般財源	0	0	0	0			
	② 国支出金	0	0	0	0			
	③ 府支出金	0	0	0	0			
	④ 地方債	0	0	0	0			
	⑤ その他特財	2,471	2,899	6,630	0			
決算情報	① 流充用額	0	△ 297					
	② 配当予算	2,471	2,602					
	③ 執行額	1,429	2,131					
	④ 執行率	57.8%	81.9%					
人概 工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.50 / 0.00	0.36 / 0.00	0.00 / 0.00	0.00 / 0.00			
	② 概算人件費	4,000	2,880	0	0			
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	5,429	5,011	0	0				
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	観光パンフレット作成事業基金繰入	種類	基金繰入金	実績金額	2,054	38	頁
		観光パンフレット広告料収入等		雑入		35	44	

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	観光入込客数	人	1116577 / 942000	892414 / 942000	594167 / 942000	/ 942000	942000
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	観光キャンペーン	回数	10 / 10	1 / 10	0 / 10	/ 10	10
	単位あたりコスト		44.9	1429.0			
	単位あたりコスト		/	/	/	/	

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	<p>時点修正で増刷をしていた総合観光パンフレットのリニューアルを行った。既存の観光スポットの紹介だけではなく、農林業振興課が認定している「エエもん」、体験型コンテンツを販売する「北色」等の新たな情報も盛り込んだ内容とした。若い世代はSNSで観光情報を収集するが、年配の世代は紙での情報収集を求めており、観光パンフレットを作成することは必要である。</p>	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	<p>パンフレットの印刷製本は入札により決定し、必要最小限の支出になるよう努めたほか、誌面に広告枠を設けることで歳入の確保を行った。作成したパンフレットは府内の観光施設や道の駅等に配架し、本市の観光情報を効果的に発信した。</p>	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	<p>新型コロナウイルス感染症の影響もあり観光キャンペーンでの配布はできなかったが、京都総合観光案内所や味夢の里のほか、近隣市町の観光施設に配架を行った。本市在住の漫画家・この史代さんに以前描いていただいたイラストを表紙に掲載することで、話題性を作った。他課が行っている事業も掲載することで、本市の観光要素を有効に活用した。</p>	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<p>令和3年度は、緊急事態宣言の発令が長期間に及び、移動自粛が求められたことから、観光入込客数は前年度を下回る結果となった。アフターコロナを見据え、将来の旅行先として本市が選定されるよう、観光パンフレットの配架を引き続き行っていき、情報を発信する必要がある。また、観光パンフレット以外の情報発信媒体についても検討していく必要がある。</p>		
改善策	<p>令和4年度は、観光パンフレットの作成だけではなく、JRの広告媒体等も活用した情報発信を行い、京阪神エリアから本市への観光需要の喚起、誘客促進を図る「観光情報発信事業」を新たに実施する。また、パンフレットの作成を福知山観光協会に委託することで、観光客のニーズを的確に捉えた内容にするとともに、近隣市町の観光協会や観光施設に対して効果的に配架を行う。</p>		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input checked="" type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	福知山お城まつり支援事業				事業コード	230147	
政策体系	基本政策	8 市民一人ひとりが、時代の変化を先取りし、地域産業の発展に貢献できるまち			政策目標	2 DXを生かした商業・サービス業の活性化	
	施策名	2 市の特質を踏まえたキラリと光る観光戦略の推進			施策コード	822	
事業担当	所属	25050000 産業政策部 産業観光課			所属長	山田 信義	
会計情報	款	07 商工費	項	01 商工費	目	03 観光費	
	会計	01 一般会計		決算付属資料	-		頁
計画期間	開始年度	平成1年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名		
	R4現在の状況	継続中					
根拠法令等	福知山お城まつり事業補助金交付要綱						
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()						
関連事業							

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	春の福知山を代表する「福知山お城まつり」を実施することにより、福知山市のシンボルであり、明智光秀が築城した「福知山城」を市外に向けて広くPRする。また、イベントを通じて観光客の誘客促進につなげ交流人口の拡大を目指す。						
対象者	観光客及び市民	対象者数	30,000	単位あたりコスト	0.0		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()						
委託先・実施主体等	福知山お城まつり実行委員会						
事業概要 (箇条書き)	・「福知山お城まつり」の開催に対して補助金を支出する。 ・新型コロナウイルス感染症拡大のため、中止						
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)	主な業務内容				

III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)	R3(評価年度)	R4(本年度)	R5(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	3,000	3,100	3,100	3,100				
	② 補正予算	△ 3,000	△ 3,100	0	0				
	③ 繰越予算	0	0	0	0				
	前年度繰越	0	0	0	0				
	次年度繰越	0	0	0	0				
小計(①～③)	0	0	3,100	3,100					
予算財源内訳	① 一般財源	0	0	0	0				
	② 国支出金	0	0	0	0				
	③ 府支出金	0	0	0	0				
	④ 地方債	0	0	0	0				
	⑤ その他特財	0	3,100	3,100	3,100				
決算情報	① 流充用額	0	0						
	② 配当予算	0	0						
	③ 執行額	0	0						
	④ 執行率	0.0%							
人概 工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.00 / 0.00	0.04 / 0.00	0.04 / 0.00	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	0	320	320	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	0	320	320	0					
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	イベント入込客数	人	10000 / 12000	0 / 12000	0 / 12000	0 / 12000	0 / 12000
観光入込客数	人	1116577 / 942000	892414 / 942000	594167 / 942000	0 / 942000	0 / 942000	942000
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	光秀行列	回	1 / 1	0 / 1	0 / 1	0 / 1	1
	単位あたりコスト		3000.0	0.0			
	開催日数	日	2 / 2	0 / 2	0 / 2	0 / 2	2
単位あたりコスト		1500.0	0.0				

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	<p>福知山に春を告げる「福知山お城まつり」は、本市のシンボルである「明智光秀ゆかりの福知山城」を広くPRし、イベントを通じて本市の魅力を発信し、集客を図ることで観光消費額の向上にもつながることから、福知山商工会議所を事務局とする実行委員会を組織しオール福知山の体制で取り組むことが必要である。</p>	<input type="checkbox"/> 高い <input checked="" type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	<p>事務局である福知山商工会議所は、飲食店をはじめ多くの事業者との連携も強く、より多くのイベント出店者の確保や市民による盛り上げの効果が期待できる。また、協賛金を募集することで自主財源の確保と協賛企業のPRを積極的に行っている。</p>	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	<p>福知山の春を代表するイベントとして定着しており、毎年多くの入込客がある。大河ドラマで多くの注目を集めた「明智光秀」や「福知山城」を発信し、本市のプロモーションや誘客に資するイベントとして有効である。</p>	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<p>令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により開催されなかった。令和3年度も開催に向けて検討を進めたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止となった。2年連続の中止となると、イベント開催のノウハウの継承やイベントに対する関心が薄くなることが懸念される。</p>		
改善策	<p>本市で開催されているイベントの中でも集客力のあるイベントであり、2日間にわたって開催されることから出店者にとって魅力的である。成果目標達成のためにも、より多く来場いただけるよう、広域観光団体の広報媒体で積極的な発信に努めるとともに、より魅力的なイベントになるよう、実行委員会や参画団体と検討を行っていく。</p>		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	「肉のまち福知山」事業				事業コード	230186	
政策体系	基本政策	8 市民一人ひとりが、時代の変化を先取りし、地域産業の発展に貢献できるまち			政策目標	2 DXを生かした商業・サービス業の活性化	
	施策名	2 市の特質を踏まえたキラリと光る観光戦略の推進			施策コード	822	
事業担当	所属	25050000 産業政策部 産業観光課			所属長	山田 信義	
会計情報	款	07 商工費	項	01 商工費	目	03 観光費	
	会計	01 一般会計		決算付属資料	-		頁
計画期間	開始年度	平成29年度	終了予定年度	令和3年度	関連計画名		
	R4現在の状況	廃止/休止					
根拠法令等	「肉のまち福知山」事業補助金交付要綱						
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()						
関連事業							

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	かつて本市に西日本の三大家畜市場があり、全国の流通を支えた歴史的な背景から、現在も精肉店や焼肉店を中心に様々な「肉」を扱った店舗が多く存在している。食文化としての肉を新たな観光コンテンツとし「肉のまち福知山」をPRすることで観光振興による地域活性化を図る。						
対象者	近隣市町の住民及び福知山市民	対象者数	10,000	単位あたりコスト	0.1		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()						
委託先・実施主体等	福知山肉まち協議会						
事業概要 (箇条書き)	福知山肉まち協議会に対する活動支援経費 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止						
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)	主な業務内容				

III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)	R3(評価年度)	R4(本年度)	R5(要求年度)		
予算情報	① 当初予算	1,255	1,400	0	0	
	② 補正予算	0	0	0	0	
	③ 繰越予算	0	0	0	0	
	前年度繰越	0	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	0	
小計(①～③)	1,255	1,400	0	0		
予算財源内訳	① 一般財源	0	0	0	0	
	② 国支出金	600	700	0	0	
	③ 府支出金	0	0	0	0	
	④ 地方債	0	0	0	0	
	⑤ その他特財	655	700	0	0	
決算情報	① 流充用額	0	0			
	② 配当予算	1,255	1,400			
	③ 執行額	661	0			
	④ 執行率	52.7%	0.0%			
人概 工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.18 / 0.00	0.14 / 0.00	0.00 / 0.00	0.00 / 0.00	
	② 概算人件費	1,440	1,120	0	0	
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	2,101	1,120	0	0		
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	観光入込客数	人	1116577 / 942000	892414 / 942000	594167 / 942000	/ 0	942000
イベント参加者数	人	10000 / 3000	0 / 3000	0 / 3000	/ 0	3000	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	実施回数	回	1 / 1	0 / 1	0 / 1	/ 0	1
	単位あたりコスト		1800.0	0.0			
	単位あたりコスト		/	/	/	/	

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	<p>「肉のまち福知山」を発信するイベントを開催しており、令和元年度は1万人を集客し、参加店舗の売り上げやPRに寄与している。開催を希望する声があり検討を進めたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止とした。</p>	<input type="checkbox"/> 高い <input checked="" type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	<p>イベントが中止となったため、福知山肉まち協議会に対して補助金を支出しなかった。</p>	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	<p>令和元年の開催時には、目標の3倍以上の来場者があり、本市の観光入込客数に大きく寄与した。</p>	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<p>令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響によりイベント「MEET×MEATフェスティバル」が開催されなかった。令和3年度は過去の出店者からイベント開催を望む声があり、従前の開催会場(福知山駅北口公園)からより広い会場(三段池公園周辺)での検討を進めたが、最終的に中止の判断に至った。</p>		
改善策	<p>「肉のまち福知山」事業は令和3年度で終了したが、「MEET×MEATフェスティバル」は1日で1万人を集客した観光コンテンツである。今後は民間団体が主催するイベントへの出店を各事業者に呼びかけるなどして、「肉のまち福知山」の発信を行っていく。</p>		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	ふくちやまサードプレイスツーリズム事業				事業コード	230191	
政策体系	基本政策	8 市民一人ひとりが、時代の変化を先取りし、地域産業の発展に貢献できるまち			政策目標	2 DXを生かした商業・サービス業の活性化	
	施策名	2 市の特質を踏まえたキラリと光る観光戦略の推進				施策コード	822
事業担当	所属	25050000 産業政策部 産業観光課			所属長	山田 信義	
会計情報	款	07 商工費	項	01 商工費	目	03 観光費	
	会計	01 一般会計		決算付属資料	182		頁
計画期間	開始年度	令和3年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	R4現在の状況 継続中	
根拠法令等							
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()						
関連事業							

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	アフター大河及びウィズコロナの観光のあり方を見据え、国内外のFITをターゲットとし、福知山の多様な地域資源を体験型観光コンテンツとして磨き上げ、現地ツアーの実施、アクティビティを動画で可視化し、これらを販売するポータルサイト「KITAIRO」を構築することで、地域経済を交流人口拡大により活性化させ持続可能な観光振興を目指す。						
対象者	観光入込客	対象者数	594,167	単位あたりコスト	0.0		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()						
委託先・実施主体等	サードプレイスツーリズム協議会						
事業概要 (箇条書き)	・ポータルサイト「KITAIRO」での体験型コンテンツの情報発信及び販売業務 ・地域資源の磨き上げによる体験型コンテンツの造成 ・体験型コンテンツ紹介のための動画撮影業務						
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)	主な業務内容				
	委託料	4,994	業務委託費				

III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)	R3(評価年度)	R4(本年度)	R5(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	0	5,000	3,917	3,917				
	② 補正予算	0	0	0	0				
	③ 繰越予算	0	0	0	0				
	前年度繰越	0	0	0	0				
	次年度繰越	0	0	0	0				
小計(①～③)	0	5,000	3,917	3,917					
予算財源内訳	① 一般財源	0	0	0	0				
	② 国支出金	0	2,500	1,958	1,958				
	③ 府支出金	0	0	0	0				
	④ 地方債	0	0	0	0				
	⑤ その他特財	0	2,500	1,959	1,959				
決算情報	① 流充用額	0	0						
	② 配当予算	0	5,000						
	③ 執行額	0	4,994						
	④ 執行率	0.0%	99.9%						
人概 工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.00 / 0.00	0.96 / 0.00	0.96 / 0.00	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	0	7,680	7,680	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	0	12,674	7,680	0					
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	ふくちやまサードプレイスツーリズム事業(地方創生推進交付金)	種類	商工費国庫補助金	実績金額	2,247	決算付属資料	20	頁
		ふくちやまサードプレイスツーリズム事業基金繰入		基金繰入金	2,497	40			

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
		観光消費額(販売額)	千円	/	/	1137 / 5000	/ 5000
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	体験型コンテンツ数	個	/	/	11 / 10	/ 20	50
	単位あたりコスト				454.0		
	観光交流プロモーション	回	/	/	1 / 2	/ 2	5
	単位あたりコスト			4994.0			

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	<p>新型コロナウイルスの影響や旅行スタイルの多様化により、現地でしか体験することができない観光コンテンツの需要が高まっている。観光事業者や旅行者等を構成員とするサードプレイスツーリズム協議会にコンテンツの造成を委託することは、本市が選ばれる観光地となるために必要なものである。</p>	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	<p>商品化するには、地域資源の把握及び体験事業者の発掘・設置等、観光への知識のみならず地域とのつながりが必要であることから、市外の事業者ではなく、市内事業者や旅行者等が構成員であるサードプレイスツーリズム協議会に委託することで実施した。</p>	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	<p>令和3年度に体験コンテンツを11コンテンツ造成し、円滑に地域資源の発掘、商品化を行った。商品化にあたっては、協議会の構成員である旅行者から最新のニーズを把握し、より魅力的な内容に仕上げる事ができた。</p>	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<p>酒蔵見学・試飲、川エビ釣り、漆掻き文化体験など、福知山でしか体験することができない観光コンテンツの発掘を行い、11コンテンツを商品化した。商品化したコンテンツは全てプロモーション動画を撮影し、ポータルサイト「北色」でコンテンツの魅力発信を行いながら販売した。また、「京都 福知山ジビエ・オンラインツアー事業」で催行したオンラインツアーを移動自粛要請解除後に現地でも体験できるようコンテンツ化を行うなど、他事業との連携も図れた。</p> <p>新たな旅行ニーズに対応するための基盤を構築することができた一方で、新型コロナウイルスの影響による緊急事態宣言やまん延防止等重点措置が長期間発令され、不要不急の外出自粛が求められていたことから、コンテンツのプロモーションが十分実施できなかったため、目標の販売額は達成できなかった。</p>		
改善策	<p>コンテンツの発掘、商品化を引き続き進める一方、販売額の増加につながるためのプロモーションに比重を置いた事業を展開していく。令和4年度はコンテンツ販売額に応じて補助率が変動する成果連動型補助金を創設した。体験型コンテンツは、本市の新たな観光資源であるため、プロモーション方法はサードプレイスツーリズム協議会と十分に協議を行いながら、海の京都DMO、森の京都DMOとも連携しながら観光誘客を図っていく。</p>		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	京都 福知山ジビエ・オンラインツアー				事業コード	230197						
政策体系	基本政策	8 市民一人ひとりが、時代の変化を先取りし、地域産業の発展に貢献できるまち			政策目標	2 DXを生かした商業・サービス業の活性化						
	施策名	2 市の特質を踏まえたキラリと光る観光戦略の推進			施策コード	822						
事業担当	所属	25050000 産業政策部 産業観光課			所属長	山田 信義						
会計情報	款	07 商工費	項	01 商工費	目	03 観光費		会計	01 一般会計	決算付属資料	182	頁
計画期間	開始年度	令和3年度	終了予定年度	令和3年度	関連計画名				R4現在の状況	廃止/休止		
根拠法令等												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的の事業 <input type="checkbox"/> その他 ()											
関連事業	ふくちやまサードプレイスツーリズム事業											

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	本市が進めている「食の観光振興」、「地域資源の素材発掘」、「エエもん認定品の販路拡大」及び「獣害対策」等の課題について、「京都 福知山ジビエ」をテーマに各種取組みを部門横断的に行う起点とする。新型コロナウイルス感染拡大が長期化する中、ジビエオンラインツアーを実施することにより広くその内容を告知し、サードプレイスツーリズム協議会が企画・造成・販売する旅行商品での集客やふるさと納税等での地産品販売につなげることを目的として実施する。											
対象者	観光入込客数	対象者数	594,167	単位あたりコスト	0.0							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()											
委託先・実施主体等	ANAあきんど株式会社京都支店											
事業概要 (箇条書き)	・オンラインでの旅行企画・実施:「京都ジビエハンター・健太郎と行く ANAオンラインツアー」～福知山・夜久野の魅力をANA CAとともに再発見する旅～ ・データの管理 ・業務の管理及び執行体制の構築											
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)	主な業務内容									
	委託料	1,100	業務委託									

III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)	R3(評価年度)	R4(本年度)	R5(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	0	0	0	0				
	② 補正予算	0	0	0	0				
	③ 繰越予算	0	0	0	0				
	前年度繰越	0	0	0	0				
	次年度繰越	0	0	0	0				
小計(①～③)	0	0	0	0					
予算財源内訳	① 一般財源	0	0	0	0				
	② 国支出金	0	0	0	0				
	③ 府支出金	0	0	0	0				
	④ 地方債	0	0	0	0				
	⑤ その他特財	0	0	0	0				
決算情報	① 流充用額	0	1,100						
	② 配当予算	0	1,100						
	③ 執行額	0	1,100						
	④ 執行率	0.0%	100.0%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.00 / 0.00	0.52 / 0.00	0.00 / 0.00	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	0	4,160	0	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	0	5,260	0	0					
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	ツアー参加者	人	/	/	67 / 270	/	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	販売促進活動	種	/	/	5 / 5	/	
	単位あたりコスト				220.0		
	単位あたりコスト		/	/	/	/	

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	<p>日本全体の課題でもあり、本市も例外でない「獣害対策」にスポットを当て、市民及び全国に向け、現状を発信できた。そこから派生する「ジビエ」という「食」を通じ観光促進につなげることができた。今後さらに「ジビエ」に注目し、民間事業者が自ら各種取り組みをできるように推進していく。</p> <p>農林業の抱える「獣害」と、コロナウイルス感染症対策で苦戦している「観光」を結びつけることにより総合的な課題解決を目指すために、優先的に取り組むべき事業であった。</p>	<input type="checkbox"/> 高い <input checked="" type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	<p>ANAグループを通じた情報発信(ANAメールマガジン・LINE・アプリバナー及び掲示板掲載)を会員180万人に対し実施した。今回の委託業務の中で効果的な情報発信ができた。</p>	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	<p>集客目標270人に対し集客67人と目標数には届かず集客には課題を残したが、遠方(北海道)からの参加もあり、またアンケート結果から「福知山の魅力が伝わった」「是非福知山を訪れたい」等、ポジティブな意見を多くいただいた。事業実施後はジビエフェア出店数増加、ジビエ体験型ツアー設定、ふるさと納税返礼品出品、エエもん食事会での提供などにつながり、経費以上の効果を得ている。また、当ツアーを先行事例とするDMOでのオンラインツアー設定など展開が広がった。</p>	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<p>今回の取り組みにより、福知山市の抱えている「観光素材の発掘」及び農林業の抱える「獣害対策」の2つの課題が「ジビエ」という「食」を通じ、地域の課題解決の一歩を踏み出した。</p> <p>観光としては、当ツアーを通じ全国に地域の課題、魅力をPRできたとともに、地元体験型ツアーサイト「北色」にて「ジビエ体験ツアー」の設定を行うなど継続的な取り組みができた。農林業としては、農業従事者の生産意欲を低下させる「獣害」に関し、ただ殺処分するだけでなく、「ジビエ肉」として新たな展開を行うことにより、農作物等被害の減少のほか、狩猟者の新たな収入源確保の可能性も広がった。</p> <p>また、市民に対し「広報ふくちやま」を通じ、現在抱えている課題、取組み及び当事業展開を広く発信することができた。さらには、地元飲食店(3店)の協力を得て「ジビエメニュー」の開発、提供も行い、「肉のまち ふくちやま」としての新たな取組みも進め、京都府中丹広域振興局が実施する「ジビエフェア」における市内参画事業者数増(前年7→本年10事業者)にもつながった。</p>		
改善策	<p>コロナ禍における「オンラインツアー」は有効的な手段だったと考えるが、今後はより「リアル」での展開を検討する。「ジビエ」という比較的国内では認知度が低い素材ではあるが、アフターコロナを見据え、「ジビエ」が高級食材として流通する欧州などの訪日観光客への展開なども視野に入れて、今後の展開を検討していく。</p> <p>国内向けには、引き続き地元体験型ツアー「北色」での展開を強化するとともに、「ふるさと納税」への出品促進や、農林業振興課と協力し、全国のホテルや料理店シェフと地元事業者(ジビエを含む地元生産者)とのマッチングツアーなどの企画を検討していく。</p>		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	海の京都DMO事業				事業コード	230344						
政策体系	基本政策	8 市民一人ひとりが、時代の変化を先取りし、地域産業の発展に貢献できるまち			政策目標	2 DXを生かした商業・サービス業の活性化						
	施策名	2 市の特質を踏まえたキラリと光る観光戦略の推進				施策コード	822					
事業担当	所属	25050000 産業政策部 産業観光課			所属長	山田 信義						
会計情報	款	07 商工費	項	01 商工費	目	03 観光費		会計	01 一般会計	決算付属資料	182	頁
計画期間	開始年度	平成25年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名				R4現在の状況	継続中		
根拠法令等												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (府・市調整実施)											
関連事業	森の京都DMO事業											

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	京都府北部(福知山市・宮津市・京丹後市・舞鶴市・綾部市・伊根町・与謝野町)を「海の京都」と位置付け、全国有数の競争力ある観光圏となることを目的に地域活性化と観光振興を資する事業を実施する。											
対象者	観光入込客	対象者数	594,167		単位あたりコスト	0.0						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (負担金支出)											
委託先・実施主体等	海の京都DMO											
事業概要 (箇条書き)	一般社団法人京都府北部地域連携都市圏振興社(海の京都DMO)に対する負担金 海の京都が実施する主な事業 ・情報発信、プロモーション、マーケティング調査 ・旅行商品造成・販売促進、特産品販売、観光地域づくり人材の育成等											
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)	主な業務内容									
	負担金補助及び交付金	11,116	負担金									

III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)	R3(評価年度)	R4(本年度)	R5(要求年度)				
予算情報	① 当初予算	11,419	11,116	11,106	11,132			
	② 補正予算	0	0	0	0			
	③ 繰越予算	0	0	0	0			
	前年度繰越	0	0	0	0			
	次年度繰越	0	0	0	0			
小計(①～③)	11,419	11,116	11,106	11,132				
予算財源内訳	① 一般財源	0	0	0	0			
	② 国支出金	4,114	3,986	3,982	3,992			
	③ 府支出金	0	0	0	0			
	④ 地方債	0	0	0	0			
	⑤ その他特財	7,305	7,130	7,124	7,140			
決算情報	① 流充用額	0	0					
	② 配当予算	11,419	11,116					
	③ 執行額	10,990	11,116					
	④ 執行率	96.2%	100.0%					
人概 工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.50 / 0.00	0.25 / 0.00	0.25 / 0.00	0.00 / 0.00			
	② 概算人件費	4,000	2,000	2,000	0			
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	14,990	13,116	2,000	0				
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	海の京都DMO事業(地方創生推進交付金)	種類	商工費国庫補助金	実績金額	3,986	18	頁
		海の京都DMO事業基金繰入		基金繰入金		7,130	38	

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	観光入込客数	人	1116577 / 942000	892414 / 942000	594167 / 942000	/ 942000	942000
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	特産品販売額	千円	906 / 2000	2142 / 2000	2227 / 2000	/ 2000	2000
	単位あたりコスト		12.5	5.1	5.0		
	単位あたりコスト		/	/	/	/	

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	CRMシステムを活用した宿泊、飲食等に利用できるクーポンの発行を季節ごとに行い、多くの市内事業者が参加したことで、本市での消費につながった。あわせて旅行者動向にかかる分析も行った。スケールを活かした情報発信及びエリア全体の旅行者動向を把握することは、DMOだからこそできる取り組みである。	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	旅行者は自治体単位ではなく、市町、府県をまたいだエリアで観光しているため、広域圏域のプロモーション活動などにおいて、DMOに参画していることは大きなメリットである。英・仏の旅行会社とパートナーシップ協定を締結して、商談会を行った。インバウンドプロモーションは、北部エリア一体となって行うことで、インバウンドからの関心を効率的に得られている。	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	観光庁の事業採択を受けて実施した「JRとの貨客混載実証」に市内の農家が参加し、京都駅地下街でのマルシェで販売を行い、新たな域内連携の促進を図った。ECサイトを活用した特産品販売を行っており、コロナ禍で現地訪問が難しい中でも事業者の販路を確保することができた。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	海の京都エリア全体で観光による集客力を底上げするための施策を展開。 [令和3年度主要事業] ・情報発信プロモーション(電車内、駅構内での情報発信等) ・地域DX推進事業(クーポンキャンペーンを活用したマーケティング調査) ・地域コンテンツ造成支援(オンライン商談会で農宿のPR、農宿プロモーション動画作成) ・特産品ブランド化・販売促進事業 等 新型コロナウイルスにより観光産業は大きな影響を受けたため、目標とするツアー取扱額や飲食宿泊等キャンペーン取扱額には達しなかったものの、情報発信及びコロナ禍で変動した観光ニーズを把握するためのマーケティング調査を行い、アフターコロナに向けた基盤整備を行うことができた。令和4年度はDMOが持つプラットフォームを活用して、誘客に向けたプロモーションを行う必要がある。		
改善策	令和3年度に実施したマーケティング調査等による顧客情報を活用し、海の京都エリアへの誘客や消費拡大に努めていく。CRMを活用したクーポンキャンペーンでは市内の参加店を増やすことで消費額増加を図るとともに、体験、周遊観光事業については、市内で体験型観光コンテンツの造成、販売を行っているサードプレイスツーリズム協議会と連携することで、福知山への誘客にもつなげていく。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	森の京都DMO事業				事業コード	230345						
政策体系	基本政策	8 市民一人ひとりが、時代の変化を先取りし、地域産業の発展に貢献できるまち			政策目標	2 DXを生かした商業・サービス業の活性化						
	施策名	2 市の特質を踏まえたキラリと光る観光戦略の推進				施策コード	822					
事業担当	所属	25050000 産業政策部 産業観光課			所属長	山田 信義						
会計情報	款	07 商工費	項	01 商工費	目	03 観光費		会計	01 一般会計	決算付属資料	182	頁
計画期間	開始年度	平成28年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名				R4現在の状況	継続中		
根拠法令等												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的の事業 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (府・市調整実施)											
関連事業	海の京都DMO事業											

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	京都府中部地域(福知山市、亀岡市、南丹市、京丹波町、綾部市、京都市右京区京北)において、「森の京都」エリアの認知度向上と地域住民自らが地域を誇りに思い、地域外の人々に魅力を発信し、交流人口や関係人口の拡大によって、持続可能な観光地域づくりを目指す。											
対象者	観光入込客	対象者数	594,167		単位あたりコスト	0.0						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (負担金支出)											
委託先・実施主体等	森の京都DMO											
事業概要 (箇条書き)	一般社団法人森の京都地域振興社(森の京都DMO)に対する負担金 森の京都が実施する主な事業 ・ローカルガイド講座 ・着地型旅行造成・販売 ・マーケティング調査、観光地域づくり人材支援等											
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)	主な業務内容									
	負担金補助及び交付金	8,915	負担金									

III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)	R3(評価年度)	R4(本年度)	R5(要求年度)				
予算情報	① 当初予算	9,118	8,915	8,952	8,960			
	② 補正予算	0	0	0	0			
	③ 繰越予算	0	0	0	0			
	前年度繰越	0	0	0	0			
	次年度繰越	0	0	0	0			
小計(①～③)	9,118	8,915	8,952	8,960				
予算財源内訳	① 一般財源	0	0	0	0			
	② 国支出金	3,320	3,216	3,229	3,232			
	③ 府支出金	0	0	0	0			
	④ 地方債	0	0	0	0			
	⑤ その他特財	5,798	5,699	5,723	5,728			
決算情報	① 流充用額	0	0					
	② 配当予算	9,118	8,915					
	③ 執行額	8,876	8,915					
	④ 執行率	97.3%	100.0%					
人概 工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.55 / 0.00	0.35 / 0.00	0.35 / 0.00	0.00 / 0.00			
	② 概算人件費	4,400	2,800	2,800	0			
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	13,276	11,715	2,800	0				
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	森の京都DMO事業(地方創生推進交付金)	種類	商工費国庫補助金	実績金額	3,216	20	頁
		森の京都DMO事業基金繰入		基金繰入金		5,699	40	

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	観光入込客数	人	1116577 / 942000	892414 / 942000	594167 / 942000	/ 942000	942000
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	観光プロモーション等	回	3 / 8	2 / 8	5 / 3	/ 3	8
	単位あたりコスト		3041.3	4438.0	1783.0		
	単位あたりコスト		/	/	/	/	

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	「福知山城とスイーツ巡り」、「鬼伝説を巡る」をテーマにしたオンラインバスツアーを実施し、定員を上回る参加者があった。コロナにより現地訪問が難しい中、地元特産品を事前に発送することで旅前の企画として好評だった。そのほか、森の京都QRTレイン(ラッピング列車)の福知山行き限定ツアーを催行するなど、旅行会社とのネットワークを有するDMOだからそこでの取り組みを実施した。	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	旅行者は自治体単位ではなく、市町、府県をまたいだエリアで観光しているため、広域圏域のプロモーション活動などにおいて、DMOに参画していることは大きなメリットである。	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	「森の京都QRTレインツアー」では、福知山に到着した観光客に楽しんでもらうため、観光ガイドによるまち歩きツアーや茶筒作り体験などのオプション企画を用意することで地域での消費を促したほか、観光案内所で使用できる割引券を進呈し、幅広い事業者に還元される取り組みも実施した。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	森の京都エリア全体で観光による集客力を底上げするための施策を展開。 [令和3年度主要事業] ・マーケティング調査、分析 ・着地型旅行商品、滞在型コンテンツの開発促進(海の京都DMOと連携したアドベンチャーツーリズム) ・カーシェアリング推進(カーシェアステーションの設置) ・プロモーション等 新型コロナウイルスにより観光産業は大きな影響を受けたため、目標とするツアー商品の集客数には及ばなかったが、御城印のブームを受けて物販販売額が目標を大きく上回ったほか、CRMを活用して情報発信が可能な顧客情報を獲得できた。		
改善策	令和3年度に実施したマーケティング調査等による顧客情報を活用し、森の京都エリアへの誘客や消費拡大に努めていく。 また、市内で体験型観光コンテンツの造成、販売を行っているサードプレイスツーリズム協議会の事業と連携することで、福知山への誘客にもつなげていく。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	福知山城憩いの広場(ゆらのガーデン)管理事業				事業コード	310202						
政策体系	基本政策	8 市民一人ひとりが、時代の変化を先取りし、地域産業の発展に貢献できるまち			政策目標	2 DXを生かした商業・サービス業の活性化						
	施策名	2 市の特質を踏まえたキラリと光る観光戦略の推進			施策コード	822						
事業担当	所属	25050000 産業政策部 産業観光課			所属長	森田 成章						
会計情報	款	07 商工費	項	01 商工費	目	02 商工業振興費		会計	01 一般会計	決算付属資料	176	頁
計画期間	開始年度	平成24年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	福知山市中心市街地活性化基本計画		R4現在の状況	継続中			
根拠法令等	福知山城憩いの広場条例、福知山城憩いの広場条例施行規則											
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()											
関連事業												

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	福知山城周辺の賑わい創出施設、また中心市街地への回遊拠点として、市民や来街者が憩える場を提供するとともに、まちなかの活性化につなげる。 福知山まちづくり株式会社、ゆらのガーデン出店者協議会および市民参加のガーデニングサークルと連携を図りながら官民協働での維持管理を行う。											
対象者	観光客及び市民			対象者数	946,618		単位あたりコスト	0.0				
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()											
委託先・実施主体等	(株)赤井土木、(公社)福知山シルバー人材センター、福知山ガーデニングサークルゆらら											
事業概要 (箇条書き)	・福知山城憩いの広場(ゆらのガーデン)の維持管理のために必要な物品の調達及び業務委託 ・市民参加型の維持管理を目的としたガーデニングサークルへの交付金の交付											
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)		主な業務内容								
	需用費	675		消耗品の購入、光熱水費								
	役務費	154		ごみ廃棄手数料、水質検査手数料								
	委託料	2,135		機械警備、植栽・芝生維持管理業務、日常清掃等維持管理業務								
	使用料及び賃借料	47		芝生管理用機器の賃借								
	負担金補助及び交付金	450		ガーデニングサークル運営交付金								

III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)	R3(評価年度)	R4(本年度)	R5(要求年度)						
予算情報	① 当初予算	3,811	3,820	3,999	4,376					
	② 補正予算	0	0	0	0					
	③ 繰越予算	0	0	0	0					
	前年度繰越	0	0	0	0					
	次年度繰越	0	0	0	0					
小計(①～③)	3,811	3,820	3,999	4,376						
予算財源内訳	① 一般財源	3,361	2,995	2,797	2,822					
	② 国支出金	0	0	0	0					
	③ 府支出金	0	0	0	0					
	④ 地方債	0	0	0	0					
	⑤ その他特財	450	825	1,202	1,554					
決算情報	① 流充用額	0	△ 359							
	② 配当予算	3,811	3,461							
	③ 執行額	3,456	3,461							
	④ 執行率	90.7%	100.0%							
人概 工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.20 / 0.00	0.36 / 0.00	0.36 / 0.00	0.00 / 0.00					
	② 概算人件費	1,600	2,880	2,880	0					
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	5,056	6,341	2,880	0						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	電柱等占用料	種類	商工使用料	60	実績金額	759	決算付属資料	10	頁
		福知山城憩いの広場使用料		商工使用料					10	

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	来場者数	人	166906 / 140000	129800 / 140000	129143 / 140000	/ 140000	140000
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	ガーデニングサークル活動参加人数	人	217 / 220	128 / 220	140 / 220	/ 220	220
	単位あたりコスト		18.6	27.0	24.7		
	広場利用回数	回	9 / 12	0 / 12	1 / 12	/ 12	12
単位あたりコスト		447.3		3461.0			

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	<p>福知山まちづくり株式会社、ゆらのガーデン出店者協議会および市民参加のガーデニングサークルと官民協働で実施する事業であり、福知山城周辺の賑わい創出施設、中心市街地への回遊の拠点として、福知山市の魅力向上につながる必要不可欠な事業である。年間を通じて植栽管理業者による維持管理、シルバー人材センターによる日常清掃及び月1回のガーデニングサークル活動を実施し、市民や来街者の憩いの場としての魅力向上に努めた。特に、大河ドラマの効果による観光客の増加を見込み、光秀をモチーフとしたリースの作成や花の充実等を行い、広場の魅力向上を図った。</p>	<input type="checkbox"/> 高い <input checked="" type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	<p>官民協働で維持管理を行うことで効率的に事業が実施できている。市民参加のガーデニングサークルと協働で実施することにより大幅なコスト削減ができています。</p>	<input checked="" type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	<p>大河ドラマの影響もあり、多くの観光客が福知山城を訪れており、観光客のおもてなしの場、福知山城周辺の賑わい創出施設、中心市街地への回遊拠点として当施設の維持・管理を行うことに加え、市民のサークル活動の場となっており有効な事業である。コロナ禍によりガーデニングサークル活動への参加自粛傾向が見られた。また広場の利用回数も1回だけであった。</p>	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<p>委託業者により、清掃及び植栽選定が実施され、適切な維持管理が図れている。また、市民参加のガーデニングサークルとの協働により、広場全体の植栽管理やゲートのリース作成等で、市民の憩いの場、観光客等のおもてなしの場を提供できている。コロナ禍により、R3年度についても、R2年度と同様に、各指標の実績値が低調であった。福知山城への観光客に対してはおもてなしの場としての機能は果たしていると評価するが、市民や近隣市町からの来場者が減少していると分析する。広場を活用したイベントの実施回数を増やし、市民や近隣市町からの誘客促進を図っていく必要がある。</p>		
改善策	<p>出店者協議会や福知山まちづくり株式会社と連携し、PR、イベントを行うことにより、観光客だけでなく、市民や近隣市町からの誘客促進を図っていく。</p>		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<p>引続き、福知山城周辺の賑わい創出施設、また中心市街地への回遊拠点として、市民や来街者が憩える場を提供するとともに、まちなかの活性化につなげていく必要がある。</p>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	城下町福知山・まち歩き観光促進事業				事業コード	310226						
政策体系	基本政策	8 市民一人ひとりが、時代の変化を先取りし、地域産業の発展に貢献できるまち			政策目標	2 DXを生かした商業・サービス業の活性化						
	施策名	2 市の特質を踏まえたキラリと光る観光戦略の推進				施策コード	822					
事業担当	所属	25050000 産業政策部 産業観光課			所属長	森田 成章						
会計情報	款	07 商工費	項	01 商工費	目	02 商工業振興費		会計	01 一般会計	決算付属資料	178	頁
計画期間	開始年度	平成27年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	-		R4現在の状況	継続中			
根拠法令等												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的業務 <input type="checkbox"/> その他 ()											
関連事業	福知山パーキング管理事業											

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	まちなか観光ルートの拠点でもある広小路界隈周辺には無料の駐車場がなく、ゆっくりまち歩き観光や買い物等を楽しむことができないため、既存の御霊公園福知山パーキングの駐車料金を一定時間無料化することで、まちなかへの来街の動機付けと滞在時間の延長を促し、まちなかの回遊性の強化と賑わいの創出を図る。											
対象者	観光客及び市民			対象者数	946,618		単位あたりコスト	0.0				
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (負担金交付)											
委託先・実施主体等	福知山まちづくり株式会社											
事業概要 (箇条書き)	福知山まちづくり株式会社が運営する御霊公園福知山パーキングの駐車料金の一定時間を無料化するための経費を負担した。駐車料金の最初の30分を無料化するための経費のうち、市が1/2(5/10)、福知山まちづくり会社が3/10、協力店が2/10を負担。30分100円無料、負担割合：市50円(5/10)・まち会社30円(3/10)・協力店20円(2/10)											
主な支出に係る業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)		主な業務内容								
	負担金補助及び交付金	539		城下町福知山・まち歩き観光促進事業負担金								

III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)	R3(評価年度)	R4(本年度)	R5(要求年度)						
予算情報	① 当初予算	965	684	696	0					
	② 補正予算	0	0	0	0					
	③ 繰越予算	0	0	0	0					
	前年度繰越	0	0	0	0					
	次年度繰越	0	0	0	0					
小計(①～③)	965	684	696	0						
予算財源内訳	① 一般財源	1	0	0	0					
	② 国支出金	0	0	0	0					
	③ 府支出金	482	342	348	0					
	④ 地方債	0	0	0	0					
	⑤ その他特財	482	342	348	0					
決算情報	① 流充用額	0	0							
	② 配当予算	965	684							
	③ 執行額	709	539							
	④ 執行率	73.5%	78.8%							
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.07 / 0.00	0.21 / 0.00	0.21 / 0.00	0.00 / 0.00					
	② 概算人件費	560	1,680	1,680	0					
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	1,269	2,219	1,680	0						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	城下町福知山・まち歩き観光促進事業基金繰入		種類	基金繰入金	実績金額	461	決算付属資料	38	頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
		広小路通り歩行者自転車通行量	人	533 / 900	776 / 917	705 / 917	/ 917
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	パーキング利用台数	台	40924 / 42000	29913 / 41000	25730 / 41000	/ 41000	41000
	単位あたりコスト		0.0	0.0	0.0		
	まち歩き事業利用率	%	36 / 40	49 / 40	44 / 40	/ 40	40
	単位あたりコスト		19.0	14.5	12.3		

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	<p>城下町としての歴史的資源、文化的資源、景観資源および商店街等、福知山市の魅力が集積する広小路界隈への来訪者増加を図ることで、まちなかのにぎわい創出や商業の活性化につながる。</p> <p>まちづくり構想福知山においても「商店街、福知山まちづくり株式会社と連携した、各エリア、各個店の誘客と賑わい創出の取組に対する支援」を達成するための事業である。</p>	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	<p>利害関係者である福知山まちづくり株式会社及び協力店舗に一部負担を求める形で協力を仰ぎ、市の負担の減少につながっている。H30年度5月から事業の実施形態を変更し、他のステークホルダーにも負担を求めることで、市の単独負担を是正した。さらに、無料券の発行を店舗で行うようにしたことで、本制度の利用率や利用者がどこを訪れたのかを確認できるようになり、効果的な事業の実施や検証につながる形で実施できている。</p>	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	<p>まちづくり会社による参加店舗数維持の取り組み及び参加店舗を巻き込んだ制度の広報活動により、利用率は44%と高い水準であり、官民連携により中心市街地への誘客を図ることができている。</p>	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<p>城下町としての歴史的資源、文化的資源、景観資源および商店街等、福知山市の魅力が集積する広小路界隈への来訪者増加を図ることで、まちなかのにぎわい創出や商業の活性化につなげることができている。</p> <p>R3年度は、コロナ禍により広小路通りの歩行者自転車通行量は目標値には及ばなかった。また、飲食店等の休業や時短営業等により、まち歩き事業の利用台数は、計画13,680台に対し10,773台と2,900台程度少なかった。</p>		
改善策	<p>協力店舗数の維持向上および市民・観光客双方へ事業内容の周知に努め、利用促進を図るとともに、まちづくり会社と商店街と連携してイベント等を実施して利用機会の増加を図る。</p>		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input checked="" type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<p>R4年度はコロナ禍による制限が緩和され、まち歩き利用台数はR元年度と同程度まで回復、協力店舗数の維持しており、一時駐車台数に占めるまち歩き利用率は42%とR元年度比で7ポイント上昇している。引き続き、御霊公園など中心市街地の回遊を促進しまちなか観光の促進、まちなかの活性化を図っていく必要がある。中心市街地に人を呼び込む施策として統一的行うため、「まちなか賑わい推進事業」に統合し、同内容の施策を継続する。</p>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	(仮称)福知山鉄道館ポッポランド建設事業				事業コード	310258						
政策体系	基本政策	8 市民一人ひとりが、時代の変化を先取りし、地域産業の発展に貢献できるまち			政策目標	2 DXを生かした商業・サービス業の活性化						
	施策名	2 市の特質を踏まえたキラリと光る観光戦略の推進				施策コード	822					
事業担当	所属	25050000 産業政策部 産業観光課			所属長	森田 成章						
会計情報	款	07 商工費	項	01 商工費	目	02 商工業振興費		会計	01 一般会計	決算付属資料	178	頁
計画期間	開始年度	令和元年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名				R4現在の状況	継続中		
根拠法令等												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()											
関連事業												

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	鉄道のまちの歴史継承及び観光誘客の拠点として(仮称)福知山鉄道館ポッポランドを建設する。											
対象者	市民及び観光客				対象者数	619,203		単位あたりコスト	0.1			
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()											
委託先・実施主体等	公益社団法人京都公共嘱託登記士土地家屋調査士協会、浦野設計株式会社、株式会社サンワコン、株式会社国土開発センター											
事業概要 (箇条書き)	・建設予定地用地整理のための公共嘱託登記業務 ・新築工事に伴う設計業務 ・建設予定地地質調査業務 ・公園改修に伴う実施設計業務											
主な支出に係る業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)	主な業務内容									
	役務費	313	省エネ適合性判定申請手数料、建築確認申請手数料、									
	委託料	39,415	体験型コンテンツ制作におけるソフトウェア開発及び監修、ポッポランド新築工事に係る設計業務、地質調査									
	補償、補填及び賠償金	3,839	下水道管路移設実施設計に伴う補償金									

III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)	R3(評価年度)	R4(本年度)	R5(要求年度)				
予算情報	① 当初予算	37,877	44,950	0	0			
	② 補正予算	100,000	320,216	0	0			
	③ 繰越予算	△ 35,451	△ 290,416	325,867	0			
	前年度繰越	0	35,451	325,867	0			
	次年度繰越	△ 35,451	△ 325,867	0	0			
小計(①～③)	102,426	74,750	325,867	0				
予算財源内訳	① 一般財源	0	21,513	5,741	0			
	② 国支出金	0	17,500	155,108	0			
	③ 府支出金	0	0	0	0			
	④ 地方債	0	0	163,600	0			
	⑤ その他特財	102,426	35,737	1,418	0			
決算情報	① 流充用額	0	△ 122					
	② 配当予算	102,426	74,628					
	③ 執行額	102,412	43,567					
	④ 執行率	100.0%	58.4%					
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.70 / 0.00	1.25 / 0.00	1.25 / 0.00	0.00 / 0.00			
	② 概算人件費	5,600	10,000	10,000	0			
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	108,012	53,567	10,000	0				
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	(仮称)福知山鉄道館ポッポランド建設事業(きょうと地域連携交付金) 福知山鉄道館ポッポランド(仮称)整備事業等浅田基金繰入金	種類	商工費府補助金 基金繰入金	実績金額	3,819 1,899	28 40	頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	設計完成	回	0 / 0	0 / 1	1 / 1	- / -	1
建物完成	回	- / 0	- / 0	- / 0	- / 0	1	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	関係者協議回数	回	0 / 0	8 / 10	19 / 10	/ 10	10
	単位あたりコスト			12801.5	2293.0		

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	「福知山鉄道館ポツポランド1号館の早期開設を求める請願」(平成29年度)の採択、福知山鉄道館ポツポランドあり方検討委員会での移設再開に関する提言提出(平成30年度)、個人の篤志家からの負担付寄附が議会で承認されるなど、市民や社会のニーズが高く、優先度の高い事業である。令和3年度において、詳細設計が完了。国の地方創生拠点整備交付金への申請を行い、採択を得た。	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	民間及び大学等への業務委託を行うなど、専門的な知見の活用及び経費抑制等による効率化を図っている。	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	令和4年度中の建物完成に向けて、令和3年度中の設計完成は理にかなっている。関係者から意見をいただきながら設計を進めており、また、民間及び大学等への業務委託を行うなどにより専門的な知見の活用を図っている。類似施設の視察等を通じて、運営手法及びコストの比較、財政シミュレーションによる分析等を行った。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	新たな鉄道館建設に係る予算の内容について市民の皆様へ情報発信をし、周知を図ってきたところであり、「福知山鉄道館ポツポランドあり方検討委員会」の提言内容を基に検討を進めてきたが、建設場所等については、条件が付された負担付寄附であるため、パブリックコメントの実施等を行うことはできていない。 展示制作や運営での企画展示やイベントの実施にあたっては、市民の皆様の意見や提案をお聞きしながら検討していくことが課題。		
改善策	展示物の制作、施設運営の計画立案等に当たっては、具体的かつ迅速に決定させていくことが多いが、可能な限り市民や関係者の意見を聞く機会特に、関係団体及び市民公募による協議の場を設け、展示制作や運営での企画展示やイベントの実施等について話し合う。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	令和5年度に開館後は、運営事業として施設維持管理・企画実施等に係る費用を計上するため。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	福知山城公園観光駐車場管理運営事業				事業コード	650312						
政策体系	基本政策	8 市民一人ひとりが、時代の変化を先取りし、地域産業の発展に貢献できるまち			政策目標	2 DXを生かした商業・サービス業の活性化						
	施策名	2 市の特質を踏まえたキラリと光る観光戦略の推進				施策コード	822					
事業担当	所属	25050000 産業政策部 産業観光課			所属長	山田 信義						
会計情報	款	07 商工費	項	01 商工費	目	03 観光費		会計	01 一般会計	決算付属資料	182	頁
計画期間	開始年度	平成15年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名				R4現在の状況	継続中		
根拠法令等												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()											
関連事業												

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	福知山城やゆらのガーデンをはじめ、市内の観光施設を自家用車や大型バスで訪れる観光客に対して、安心安全な駐車場を提供することで、満足度向上を図る。											
対象者	観光客及び市民(福知山城、美術館及びゆらのガーデン利用者)	対象者数	202,828		単位あたりコスト	0.0						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()											
委託先・実施主体等	公益社団法人福知山市シルバー人材センター、株式会社フォールズ											
事業概要 (箇条書き)	<input type="checkbox"/> 福知山城公園観光駐車場の維持管理(警備、修繕等) <input type="checkbox"/> 駐車場内のトイレの維持管理											
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)	主な業務内容									
	需用費	468	水道代、電気代									
	役務費	165	ごみ廃棄手数料									
	委託料	4,049	業務委託費									

III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)	R3(評価年度)	R4(本年度)	R5(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	1,878	6,477	5,781	49,750				
	② 補正予算	0	0	0	0				
	③ 繰越予算	0	0	0	0				
	前年度繰越	0	0	0	0				
	次年度繰越	0	0	0	0				
小計(①～③)	1,878	6,477	5,781	49,750					
予算財源内訳	① 一般財源	200	3,422	2,915	27,683				
	② 国支出金	0	0	0	0				
	③ 府支出金	0	0	0	0				
	④ 地方債	0	0	0	19,200				
	⑤ その他特財	1,678	3,055	2,866	2,867				
決算情報	① 流充用額	4	△ 1,100						
	② 配当予算	1,882	5,377						
	③ 執行額	1,636	4,682						
	④ 執行率	86.9%	87.1%						
人概 工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.15 / 0.00	0.16 / 0.00	0.16 / 0.00	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	1,200	1,280	1,280	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	2,836	5,962	1,280	0					
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	福知山城天守閣入館料等	種類	総務使用料	実績金額	3,937	決算付属資料	8	頁
		電柱等占用料		商工使用料		1		10	
		不用品売却		雑入		1		48	

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	観光入込客数	人	1116577 / 942000	892414 / 942000	594167 / 942000	/ 942000	942000
福知山城入館者数	人	75246 / 50000	109189 / 50000	53445 / 60000	/ 60000	60000	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	警備日数	日	6 / 3	0 / 0	101 / 118	/ 123	120
	単位あたりコスト		231.3		46.4		
	単位あたりコスト		/	/	/	/	

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	本市への観光客の大半が自家用車で訪れており、主要観光スポットである福知山城、ゆらのガーデンへの来訪者のために観光駐車場を提供することは、観光客の利便性及び満足度向上に必要不可欠であり、優先度は高い。	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	駐車場の警備業務は入札で決定し、警備員1名あたりの単価契約とすることで最小限のコストになるよう努めた。自家用車の駐車場が満車になった後は、バス駐車場の空き状況にあわせて臨機応変に誘導するなど効果的な運用を行っている。	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	新型コロナウイルスの影響により、観光入込客数、福知山城への入館者数は前年度を下回ったが、福知山城への来館者は多くが自家用車であるため、駐車場を運営することは観光客へのサービスとして非常に有効である。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	観光駐車場及びトイレは、福知山城の観光客やゆらのガーデン利用者への利便性向上につながっている。土日祝日は警備員を配置しているため安全に誘導を行っているが、駐車台数が70台と限られているため昼間を中心に満車になることがある。		
改善策	新型コロナウイルス収束後は観光客の増加が見込まれるほか、福知山城公園内に(仮称)福知山鉄道館ポッポランドの建設が予定されていることから、さらなる駐車場利用者の増加が考えられる。土日祝日は引き続き警備員を配置し、市役所駐車場を案内するなど混雑に対応していく。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	未来につなぐ桜プロジェクト事業				事業コード	530221						
政策体系	基本政策	8 市民一人ひとりが、時代の変化を先取りし、地域産業の発展に貢献できるまち			政策目標	2 DXを生かした商業・サービス業の活性化						
	施策名	2 市の特質を踏まえたキラリと光る観光戦略の推進				施策コード	822					
事業担当	所属	35050000 建設交通部 都市・交通課			所属長	芦田 裕人						
会計情報	款	08 土木費	項	04 都市計画費	目	04 公園管理費		会計	01 一般会計	決算付属資料	194	頁
計画期間	開始年度	平成30年度	終了予定年度	令和4年度	関連計画名				R4現在の状況	継続中		
根拠法令等												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的的事业 <input type="checkbox"/> その他 ()											
関連事業	既設公園管理事業											

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	未来に向かってサクラを植栽することでまちの魅力を高め、市民の市への愛着と誇りを育むとともに、知名度アップやイメージの向上を図り、市内外からの観光客が訪れる場所を創造していく。											
対象者	市民及び観光等による本市への来客数				対象者数	1,000,000		単位あたりコスト	0.0			
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()											
委託先・実施主体等	(株)角木昭五園											
事業概要 (箇条書き)	卒業を迎える市内の6年生と協働し、三段池公園に桜の苗木を植樹する。											
主な支出に係る業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)		主な業務内容								
	委託料	479		三段池公園桜苗木植樹業務								

III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)	R3(評価年度)	R4(本年度)	R5(要求年度)						
予算情報	① 当初予算	600	600	600	0					
	② 補正予算	0	0	0	0					
	③ 繰越予算	0	0	0	0					
	前年度繰越	0	0	0	0					
	次年度繰越	0	0	0	0					
小計(①～③)	600	600	600	0						
予算財源内訳	① 一般財源	0	0	0	0					
	② 国支出金	0	0	0	0					
	③ 府支出金	0	0	0	0					
	④ 地方債	0	0	0	0					
	⑤ その他特財	600	600	600	0					
決算情報	① 流充用額	△ 108	△ 121							
	② 配当予算	492	479							
	③ 執行額	492	479							
	④ 執行率	100.0%	100.0%							
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.06 / 0.00	0.07 / 0.00	0.07 / 0.00	0.00 / 0.00					
	② 概算人件費	480	560	560	0					
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	972	1,039	560	0						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	未来につなぐ桜プロジェクト事業基金繰入		種類	基金繰入金	実績金額	478	決算付属資料	40	頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	定性的評価			0 / 0	0 / 0	0 / 0	/ 0
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	サクラ苗木植栽本数	本	30 / 30	20 / 30	24 / 30	/ 30	140
	単位あたりコスト		16.0	24.6	20.0		
	単位あたりコスト		/	/	/	/	

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	<ul style="list-style-type: none"> 三段池公園には、1000本以上の桜が植栽され、春先には多くの公園利用者が花見を楽しんでいる。 桜の名所としてのさらに魅力を高めるため、桜の苗木の植樹する。 	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	<ul style="list-style-type: none"> 「郡上桜守の会」から寄贈された桜を植樹することで、苗木代の費用削減に努める。 	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	<ul style="list-style-type: none"> 数年後には、多くの桜が成長し、桜の名所としての魅力をより高めることができる。 小学校6年生が卒業記念として、自ら公園に桜を植樹することで、シビックプライドの育成に繋がる。 	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<ul style="list-style-type: none"> 苗木の植樹であるため、成長するまでに時間が必要である。 		
改善策	<ul style="list-style-type: none"> 令和4年度で事業が終わるが、緑化推進を目的とする団体等が主体となり、事業を引き継いでいくことができないか検討していく。 		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	三段池公園の桜の植栽は完了したため、今後は、植樹した桜を守り育てる方向にシフトする。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--